

伊勢農林水産事務所管内

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市
番号	区分	事業名		
1	基本	森林整備事業		
事業費	3,688,200 円(うち交付金	3,688,200 円	うち基金活用	0 円)

1. 事業の目的	伊勢市の沿岸部には、防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下している。このことから、当該交付金を活用し病虫害被害を未然に防ぐことで地域住民の安全を図りたい。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 沿岸部に植生した松の病虫害被害防止を図るため、樹幹注入を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 伊勢市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 1箇所(二見町)</p> <p>【事業量】 樹幹注入本数:260本(アンプル数1,225本)</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月～平成31年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 付近住民: 773世帯、1,866人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 観光名所である二見海岸林の景観保全及び倒木による観光客への被害防止を図る。また、平成22年度に策定した「おもてなしの空間としての訪れた人々が心休まる松原づくり」をテーマとした伊勢市二見地区松林再生計画に基づき、地元を主体とした松の植樹等を行っており、松林再生に向けてサポートを行うことで保安林としての機能回復を図る。</p> <p>【実施した効果】 病虫害による枯渇を未然に防止し、倒木による住民への被害防止が図られている。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 地元と市が協力して現在の景観の維持を行うとともに、松林再生に向けてのサポートを行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 病虫害による枯渇を未然に防止し、海岸の景観を維持するとともに、地元を主体とした松林再生の活動をサポートする。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 地元住民等に理解を得、松林再生のための植樹等に積極的に協力していただいている。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
番号	区分	事業名	
1	基本	森林整備事業	
事業費	3,688,200 円(うち交付金	3,688,200 円	うち基金活用 0 円)
4. 効率性			
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 市による委託請負契約			
【実施方法の選定理由】 市有地及び地元自治会が管理されている松林であるため、市が発注を行った。			
【契約方法と落札率または補助率等】 要件付一般競争入札(落札率93%)			
【契約相手方の選定理由】 要件付一般競争入札による落札者と契約しています。			
【事業費の積算根拠】 三重県が発行している森林病虫害事業単価表(松くい虫事業関係)により積算している。			
5. 公益性（波及度）			
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 付近住民：773世帯、1,866人			
【管理責任者（森林所有者）への対応】 市有地及び地元自治会が管理する松林である為、地元自治会へ説明を行い施行を行っている。			
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 市有地及び地元自治会が管理する松林であるため、転用等が想定されず、該当しない。			
6. 周知実績と今後の周知			
【実施前の実績】 地元住民及び関係機関に事業の目的と内容について周知する。			
【実施中の実績】 看板等で当該交付金のPRを行った。			
【実施後の実績】 実施地区の回覧板や掲示板により、みえ森と緑の県民税を活用して実施したことを周知した。			
【今後の見込】 当事業の内容を市HPでPRすることを検討している。			
7. 写真			
別紙のとおり			
8. その他特記事項			

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	森林整備事業
-----	--------

7. 写真



写真1
二見町 樹幹注入 穿孔状況



写真2
二見町 樹幹注入 アンブル注入状況



写真3
二見町 樹幹注入 アンブル回収状況

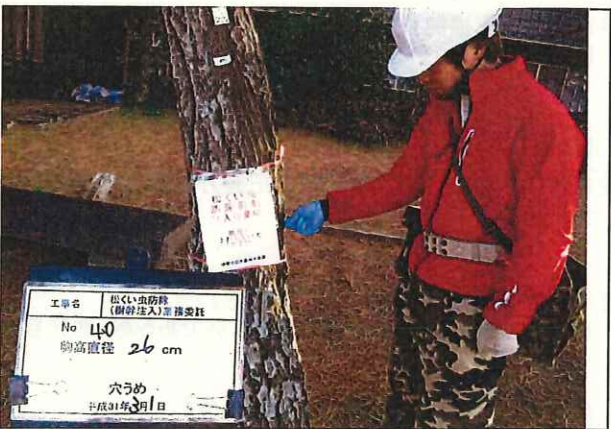


写真4
二見町 樹幹注入 穴うめ状況



写真5
作業中看板設置状況



写真6
看板設置状況

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	伊勢市
番号	区分	事業名		
2	基本	桜浜中学校整備事業		
事業費	35,208,000 円(うち交付金	35,208,000 円	うち基金活用	15,224,427 円)

1. 事業の目的	
伊勢市植山町において、豊浜中学校、北浜中学校を統合する桜浜中学校を新築するに当たり、校庭を緑化することにより生徒及び地域住民に身近な緑の環境を提供する事ができる。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 校庭に植樹をおこなう。 樹種：クスノキ、ソメイヨシノ、イロハモミジ、シマサルスベリ、クロマツ、ヒトツツジ、シロツメサ、コウライシバ、シハサクラ	
【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 伊勢市	
【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。	
【箇所数】 1箇所(植山町)	
【事業量】 植樹一式(高木32本、中木6本、低木3,511㎡、地被類647㎡)	
【事業実施期間】 平成30年9月～平成31年3月	
【受益者、参加者、利用者数等】 生徒数278人、付近住民：5,991世帯、15,493人	
3. 有効性	
【実施箇所の選定理由】 校庭を緑化することにより、生徒に森林環境に興味をもってもらうとともに、森林を大切にすることを育む。行事等で住民が学校を訪れた際、緑にふれあってもらい樹木のよさを感じてもらおう。	
【実施した効果】 生徒及び地域住民が緑に親しむ環境を提供することにより、「樹木の良さ」に気付き、森林を大切にすることを育む。	
【実施箇所の今後の管理体制】 桜浜中学校が管理を行う。	
【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 樹木を活用した授業や日頃の手入れを通じて森林環境に興味をもってもらう。	
【実施内容に対する住民等の反応】 学校関係者、生徒等に御礼の言葉をいただいている。	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	伊勢市
------	--------------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本	桜浜中学校整備事業
事業費	35,208,000 円(うち交付金	35,208,000 円 うち基金活用 15,224,427 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 市による工事請負契約</p> <p>【実施方法の選定理由】 市有地であることから、市が発注を行った。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 エリア189.5% エリア289.8%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 一般競争入札による落札者と契約しています。</p> <p>【事業費の積算根拠】 三重県標準歩掛及び見積りにより積算している。</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 生徒数278人、付近住民：5,991世帯、15,493人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 市有地であるため、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 市の施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 地元住民及び関係機関に事業の目的と内容について周知する。</p> <p>【実施中の実績】 のぼり旗により、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知させた。</p> <p>【実施後の実績】 植樹祭等を実施して地元住民及び各関係者にチラシ等を配布して説明した。</p> <p>【今後の見込】 当事業の内容を市HPでPRすることを検討している。</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 伊勢市

事業名 桜浜中学校整備事業

7. 写真



写真1
施行前



写真2
施行後



写真3
施行前



写真4
施行後



写真5
植樹祭



写真6
植樹祭

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	伊勢市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	郷の里風輪木製扉等設置事業
事業費	907,200 円(うち交付金	858,600 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的	<p>横輪町の公民館と産直市である郷の里風輪の駐車場への入口のスロープに木柵を設置し、風輪のベランダへの入口に木製扉を設置することにより、侵入防止・転落防止を図ることにより、市民の木への関心を深め、県民・市民全体で森林を支える社会づくりを推進する。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 横輪町の公民館と産直市である郷の里風輪の駐車場への入口のスロープに木柵を設置。風輪のベランダへの入口に木製扉を設置。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 伊勢市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 1箇所(横輪町地内)</p> <p>【事業量】 木製扉2箇所 木柵14m</p> <p>【事業実施期間】 平成31年1月～平成31年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 付近住民:44世帯、78人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 当該施設は、横輪町の活動拠点である公民館の横にあり駐車場への入り口を共有している。多くの町民が利用する拠点であることから、入り口のスロープとベランダへの出入り口に侵入防止の木柵と扉を県産材を使用して設置することにより、木への関心を深められる。</p> <p>【実施した効果】 進入防止・転落防止のため、スロープへの木柵、産直市の風輪のベランダへの入り口に木製の扉を設置し、利用者に木への関心を深め、県産材の活用を推進した。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 伊勢市からの指定管理者にて管理を行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 木製扉・木柵の設置により、利用者に木の関心を深め、県産材の活用を推進する。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 地元関係者、利用者から御礼の言葉をいただいている。</p>

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	伊勢市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	郷の里風輪木製扉等設置事業
事業費	907,200 円(うち交付金	858,600 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 市による工事請負契約</p> <p>【実施方法の選定理由】 地元町会の土地であり、伊勢市が指定管理者を選定している施設なので市が発注を行った。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 三社見積競争入札(落札率約76.0%)</p> <p>【契約相手方の選定理由】 三社見積競争入札による落札者と契約しています。</p> <p>【事業費の積算根拠】 三社見積りにより積算している。</p>
--------	---

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 付近住民:44世帯、78人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 市の土地であり、市が指定管理者を選定している施設なので、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 市の土地であり、市が指定管理者を選定している施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。</p>
-------------	--

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 地元住民及び関係機関にみえ森と緑の県民税を活用して実施したことを説明。</p> <p>【実施中の実績】 のぼり旗等で当該交付金のPRを行った。</p> <p>【実施後の実績】 当該交付金のPRプレート等を作成し掲示する。</p> <p>【今後の見込】 当事業の内容を市HPでPRすることを検討している。</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分	4. 木の薫る空間づくり
------	--------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	郷の恵木製扉等設置事業
-----	-------------

7. 写真



写真1

施行前



写真2

施行後



写真3

施行前



写真4

完成



写真5

完成



写真6

PR

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本	人家裏等危険木伐採事業
事業費	2,975,400 円(うち交付金	1,336,627 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的
 三郷山は、遊歩道の設置されている公共性の高い山であるが、山裾には民家、道路があり、倒木の恐れのある危険木を伐採することにより、倒木脅威にさらされている地域住民の安全を確保し、生活環境の向上を図ることが出来る。

2. 事業実績概要

【事業内容】
 人家裏や道路沿いの倒木の恐れのある危険木の伐採

【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】
 伊勢市

【補助率等】
 補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】
 3箇所(二俣町地内・辻久留町地内)

【事業量】
 危険木伐採 59本

【事業実施期間】
 平成31年1月～平成31年3月

【受益者、参加者、利用者数等】
 付近住民:374世帯、739人(H30)

3. 有効性

【実施箇所の選定理由】
 倒木の恐れのある危険木を伐採することにより、地域住民の心のやすらぎを確保し、生活環境の向上を図る。

【実施した効果】
 倒木の脅威にさらされている地域住民の安全・安心を確保した。

【実施箇所の今後の管理体制】
 所有者にて管理を行う。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】
 地域住民の安全・安心の確保、生活環境の向上を推進する。

【実施内容に対する住民等の反応】
 地区代表者(町会長等)、及び付近住民から御礼の言葉をいただいている。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本	人家裏等危険木伐採事業
事業費	2,975,400 円(うち交付金	1,336,627 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 市による工事請負契約</p> <p>【実施方法の選定理由】 地元町会の土地及び個人に同意を得て市が発注を行った。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 一般競争入札(落札率約85%)</p> <p>【契約相手方の選定理由】 三社見積競争入札による落札者と契約しています。</p> <p>【事業費の積算根拠】 三社見積りにより積算している。</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 付近住民:374世帯、739人 辻久留町、二俣4丁目 住民基本台帳(H30)</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 町有林である箇所は地元町会に了解を得て行っている。一部民有林の部分については、所有者に承諾書を得て実施している。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 区有林であるため、転用等の可能性は低い。(規制は特にないが、区では高木による危険の回避に苦慮している。)</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 地元住民及び関係機関に事業の目的と内容について周知する。</p> <p>【実施中の実績】 のぼり旗等で当該交付金のPRを行った。</p> <p>【実施後の実績】 地元住民にパンフレットを配布し、みえ森と緑の県民税を活用して実施したことを周知した。</p> <p>【今後の見込】 当事業の内容を市HPでPRすることを検討している。</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	伊勢市
-----	-----

事業名	人家裏等危険木伐採事業
-----	-------------

7. 写真



写真1
施行前



写真2
施行状況



写真3
完成



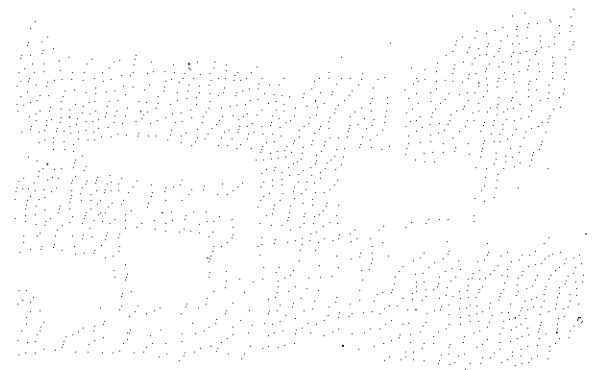
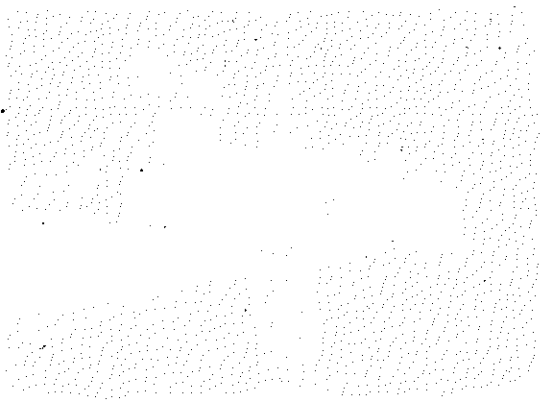
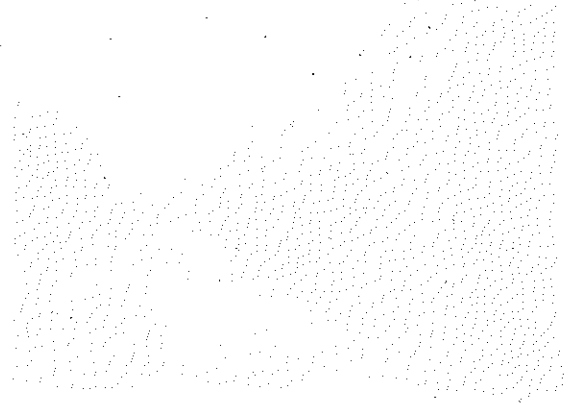
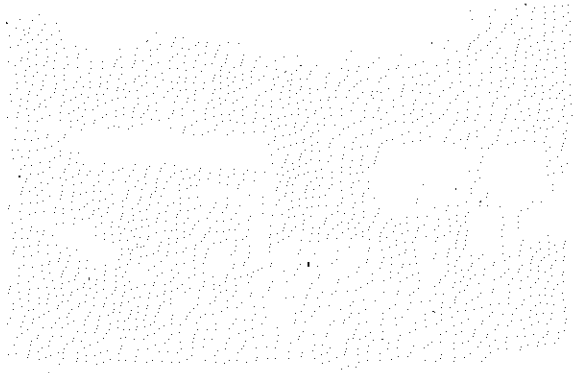
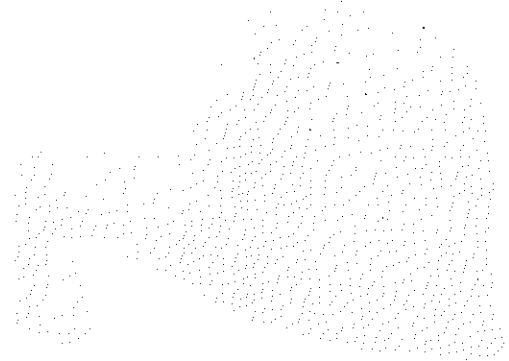
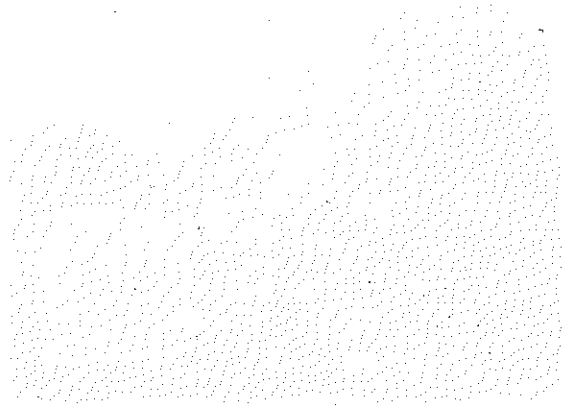
写真4
施行前



写真5
完成



写真6
PR



対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	危険木伐採事業
事業費	8,280,100 円(うち交付金	8,280,100 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的	公共施設等の周辺の危険木（倒木等の恐れのある木）を除去し、安心安全な街づくりを目指し生活環境の向上を図る。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 人家や通学路等に隣接し、倒木の恐れのある危険木について、緊急に伐採等する必要がある箇所を選定し伐採及び剪定する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 鳥羽市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 ・5箇所（鳥羽三丁目、答志町、岩倉町、坂手町、船津町） 小・中学校（4箇所） 計9箇所</p> <p>【事業量】 ・5箇所（鳥羽三丁目、答志町、岩倉町、坂手町、船津町） 小・中学校（4箇所） 計9箇所</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月18日～平成31年3月29日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 ・生活環境が向上する集落数 鳥羽三丁目：434名、答志町：1464名、岩倉町：662名、坂手町：315名、船津町：587名 ・環境が向上する学童数 安楽島小学校：227名、加茂中学校：74名、長岡中学校：39名、鳥羽東中学校：255名</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 通学路や生活用道路に面する危険木を除去することにより、市民の方の安心安全が確保される。</p> <p>【実施した効果】 危険木を整備したことで、市民の方が安心安全な生活を送れる。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 ・市で管理する。 ・所有者において適切な管理をお願いする。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 ・適切な維持管理を努める。 ・適切な管理を実施していくことで森林整備に努めていく。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 「安心して通行できるようになった。」等の意見があった。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	危険木伐採事業
事業費		8,280,100 円(うち交付金 8,280,100 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>市による業務委託契約</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>市が実施することにより、広範囲での伐採、搬出が可能のため。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約方法:指名競争入札(3社)・落札率:99.31%・指名競争入札(8社)落札率89.52%（鳥羽三丁目、答志町、岩倉町地区）・随意契約(2社)落札率100%（坂手地区）・随意契約(2社)落札率100%（船津地区） <p>【契約相手方の選定理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内において危険木など樹木の伐採事業について実績のある事業所 ・市内業者の内、造園工事業を行える業者で入札参加資格者名簿に登録されている者を指名した。 <p>【事業費の積算根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境林整備事業に係る標準単価により積算 ・複数業者より見積を徴収し、鳥羽市が積算
--------	---

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>学校施設や公共施設であるため、学生数及び住民基本台帳にて把握。</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校用地は、管理責任者が市であるため、個人が所有する森林等の整備ではなく該当しない。 ・所有者において適切な管理をお願いする。 <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校用地は、管理責任者が市であるため、転用の恐れはない。 ・私有地については特段規制はないため、転用等を行わないようにお願いする。
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】</p> <p>広報誌により、みえ森と緑の県民税を活用して実施する事業として紹介した。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>工事看板やのぼり旗により、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知した。</p> <p>【実施後の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区の回覧板や掲示板により、みえ森と緑の県民税を活用して実施したことを周知した。 ・森林の大切さや緑の循環チラシ等を配布して説明した。 <p>【今後の見込】</p> <p>—</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	—

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

5. 写真



写真1
作業前(安楽島小学校)



写真2
作業後(安楽島小学校)



写真3
作業前(安楽島小学校)

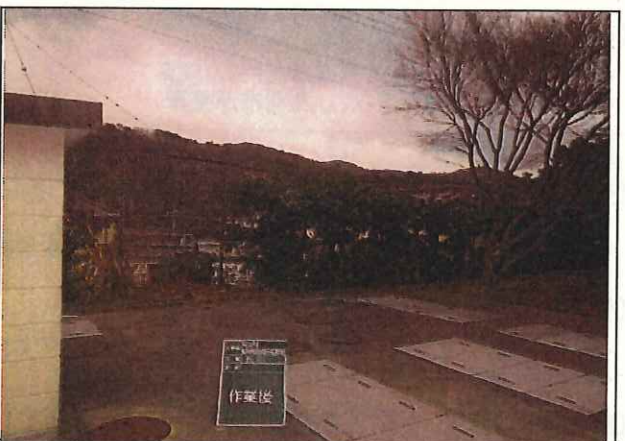


写真4
作業後(安楽島小学校)



写真5
作業中のぼり設置(安楽島小学校)



写真6
作業中のぼり設置(安楽島小学校)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	鳥羽市
-----	-----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

5. 写真



写真1

作業前(加茂中学校)

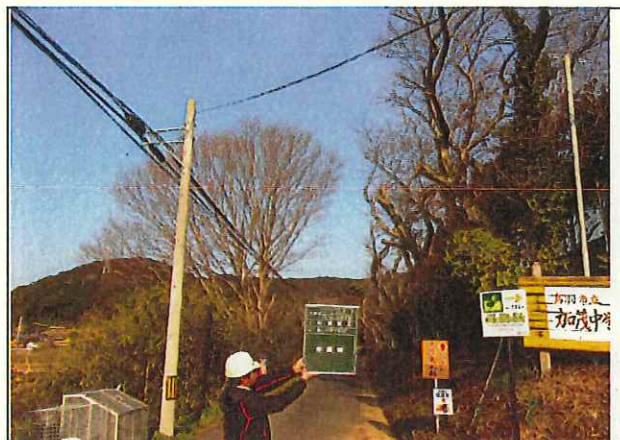


写真2

作業後(加茂中学校)

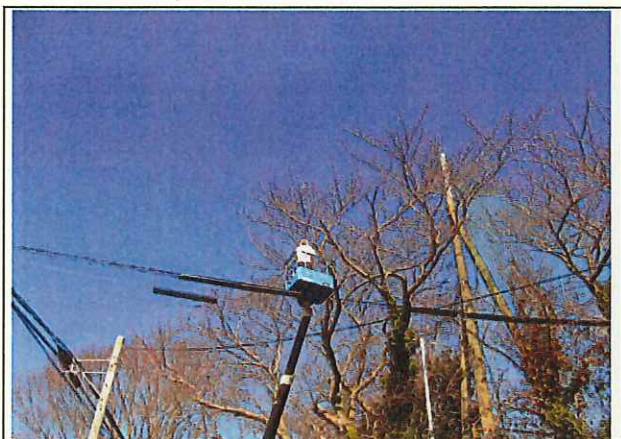


写真3

作業中(加茂中学校)



写真4

作業中のぼり設置(加茂中学校)

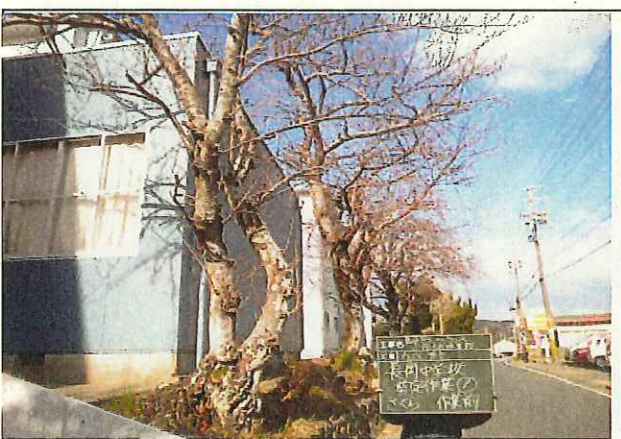


写真5

作業前(長岡中学校)



写真6

作業後(長岡中学校)

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 鳥羽市

事業名 危険木伐採事業

5. 写真



写真1 作業前のぼり設置(三丁目)



写真2 作業後(三丁目)



写真3 作業前のぼり設置(答志町)

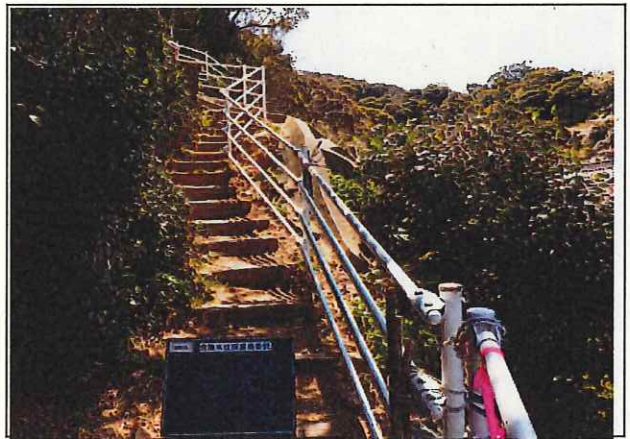


写真4 作業後(答志町)



写真5 作業前(岩倉町)



写真6 作業後(岩倉町)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鳥羽市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本	木に親しむ備品購入事業
事業費	1,123,200 円(うち交付金	1,123,200 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的	小さい頃から木に触れることにより県産材に対する愛着と森林を大切にすることを目的とする。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 鳥羽市神島町の保育所に県産材を用いたロッカー等の木質備品を設置する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 鳥羽市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 神島保育所 1箇所</p> <p>【事業量】 備品購入:木製ロッカー 1台(W3250×D350×H800)・木製シューズボックス 1台(W1710×D300×H1105)・木製吊り戸棚 1台(W1775×D350×H600)</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月～平成31年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 神島保育所児童:6名 神島保育所保育士:2名 児童の保護者等:12名</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 小さい頃から木に触れる機会を創造するため、新築中の保育所で備品を木製製品にする。</p> <p>【実施した効果】 木に触れる機会が増加し、自然を大切にすることが育まれた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 市において適切な管理をする。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 木を使った製品を施設に備えることで、木の良さに関する意識醸成を図る。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 「木の良い香りがする」「触り心地が良く、木製品も良いものだ」等の意見が児童、保護者からあった。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鳥羽市
番号	区分	事業名		
2	基本	木に親しむ備品購入事業		
事業費	1,123,200 円(うち交付金	1,123,200 円	うち基金活用	0 円)

4. 効率性
<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>市による備品購入</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>児童の木に触れ合う機会を創造するため、新築中の保育所に木製備品を使用する</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>指名競争入札(3社) 97.74%</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>三重県知事が認定した「認定林業事業体」のうち、入札参加資格者名簿に登録がある業者を選定</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>複数社から見積を徴収し、積算</p>

5. 公益性（波及度）
<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>神島保育所児童数:6名 神島保育所保育士数:2名 児童の保護者等:不明</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>個人所有の森林整備ではなく該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>管理責任者が市であるため、転用の恐れはない。</p>

6. 周知実績と今後の周知
<p>【実施前の実績】</p> <p>市の広報等にて周知</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>物品の購入のため「実施中」に該当する期間がない。</p> <p>【実施後の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品にロゴマーク又は「みえ森と緑の県民税」と焼印を入れることで周知する。 ・広報誌によりみえ森と緑の県民税を活用して実施した事業として紹介したパンフレットを配布した。 <p>【今後の見込】</p> <p>—</p>

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項
—

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 鳥羽市

事業名 木に親しむ備品購入事業

5. 写真



写真1

木製ロッカー



写真2

木製シューズボックス

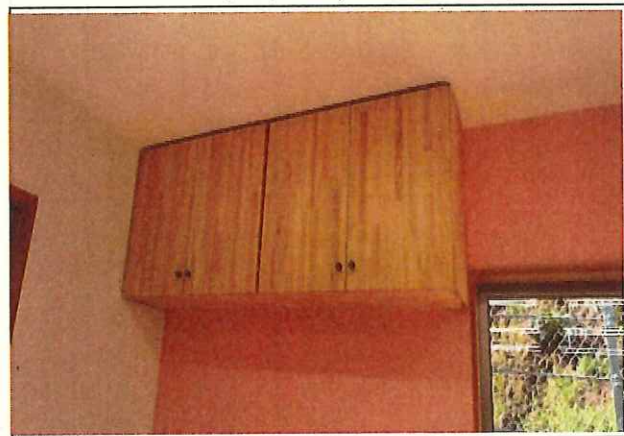


写真3

木製吊り戸棚



写真4

木製ロッカー



写真5

木製シューズボックス

写真6

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	鳥羽市
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	木材利用の啓発に伴う油圧式薪割機購入
事業費	99,900 円(うち交付金	99,900 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的

みえ森と県民税の事業により生じた伐採木の残材において、薪割機を使用し加工したものを木質燃料として鳥羽マルシェに設置している薪ストーブで活用することにより、伐採木再利用化の促進の周知を目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

薪割機を購入・設置し、みえ森と緑の県民税の事業により生じた伐採木を薪割機により加工し、木質燃料として鳥羽マルシェに設置している薪ストーブで利用する。

【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】

鳥羽市

【補助率等】

補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】

1台

【事業量】

油圧式薪割機 1台(W108×D45×H53.9cm)破砕力 6t

【事業実施期間】

平成31年3月14日 ~ 平成31年3月15日

【受益者、参加者、利用者数等】

利用者数:約55,000人(鳥羽マルシェ)

3. 有効性

【実施箇所の選定理由】

薪ストーブを利用しており、利用者数もあるため、木質燃料の利用の周知が期待できる。

【実施した効果】

木質燃料を利用することで施設利用者へPRした。

【実施箇所の今後の管理体制】

市において適切な管理をする。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】

適切な管理を実施していくことで、木質燃料のPRを続けていく。

【実施内容に対する住民等の反応】

「火が揺らめいていて和やかな気持ちになる。」「空調とは違った優しい温かみがある。」等の意見があった。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり		市町名	鳥羽市
番号	区分	事業名		
3	基本	木材利用の啓発に伴う油圧式薪割機購入		
事業費	99,900 円(うち交付金	99,900 円	うち基金活用	0 円)
4. 効率性				
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】				
市による備品購入				
【実施方法の選定理由】				
木質燃料の利用を周知するため、薪割作業の効率化を図る。				
【契約方法と落札率または補助率等】				
随意契約(1社)100%				
【契約相手方の選定理由】				
油圧式薪割機を扱っており入札参加資格者名簿に登録されている者を選定。				
【事業費の積算根拠】				
見積を徴収し積算				
5. 公益性（波及度）				
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】				
鳥羽マルシェ利用者実績 約55,000人				
【管理責任者（森林所有者）への対応】				
個人が所有する森林等の整備ではなく該当しない。				
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】				
管理責任者が市であるため、転用の恐れはない。				
6. 周知実績と今後の周知				
【実施前の実績】				
広報誌により、みえ森と緑の県民税を活用して実施する事業として紹介した。				
【実施中の実績】				
物品の購入であり「実施中」に該当する期間がない。				
【実施後の実績】				
広報誌により、みえ森と緑の県民税を活用して実施する事業として紹介した。				
【今後の見込】				
—				
7. 写真				
別紙のとおり				
8. その他特記事項				
—				

対策区分 4. 木の薫る空間づくり

市町名 鳥羽市

事業名 木材利用の啓発に伴う油圧式薪割機購入

5. 写真



写真1 納品



写真2 確認



写真3 鳥羽マルシェの薪ストーブ点火式の様子

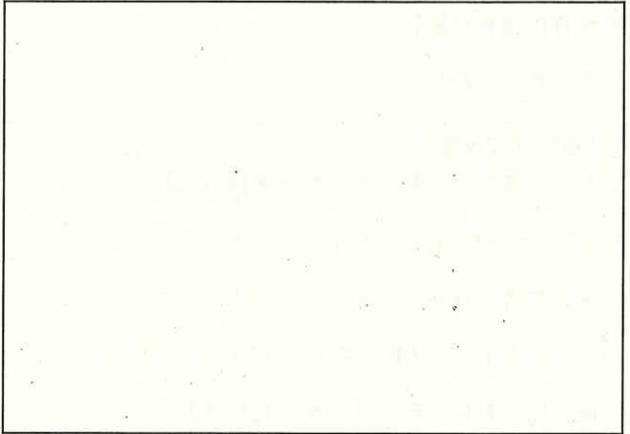


写真4

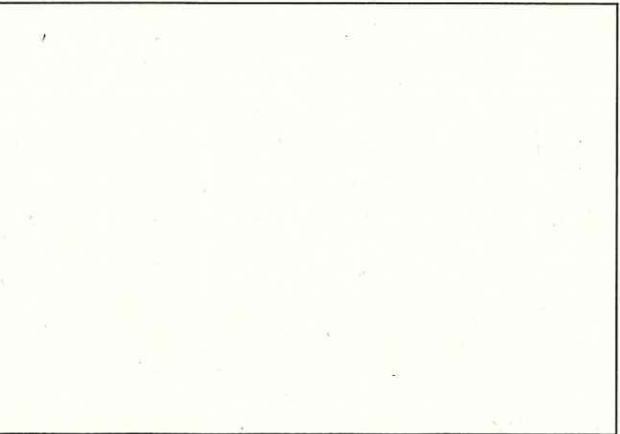


写真5

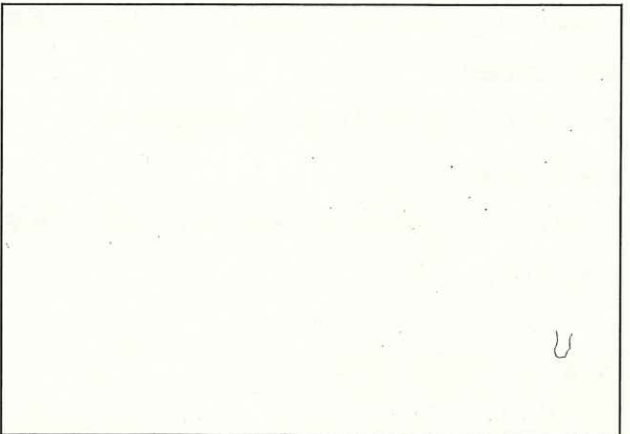


写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	里海・里山保全事業
事業費	2,786,940 円(うち交付金	2,737,433 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的
志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人が訪れている。松林の公園や景勝地にある松を森林病害虫の被害から守るための対策を施し、景観形成の維持を図る。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>森林病害虫による松枯れを予防するために、薬剤の樹幹注入を行う。また、松の木の保全や森林の持つレクリエーション等の保健、休養の場としての機能を高めるために、下刈りを行う。また、病害虫による松枯れの蔓延防止のため、枯れ松の伐倒処理を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】</p> <p>志摩市</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>2か所 志摩市阿児町安乗地内 : 安乗岬園地 志摩市阿児町甲賀地区内: 阿児の松原</p> <p>【事業量】</p> <p>下刈り面積:0.8ha 樹幹注入松本数:131本 枯れ松処理 11.5m³</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>平成30年10月～平成31年3月</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>地元自治会:4,394人 1,900世帯 志摩市阿児地域観光客数 1,068,134人</p>
3. 有効性
<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>実施箇所は、高度公益機能林(松くい虫等の被害から特に保護する必要がある森林)に指定されている。</p> <p>【実施した効果】</p> <p>森林病害虫による被害防止が図られた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】</p> <p>市が森林公園として、管理していく。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】</p> <p>森林の持つレクリエーション等の保健、休養の場としての機能を高め、森林公園として利用していく。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】</p> <p>市民から太い松が少なくなっているので、保全してほしいとの声をいただいている。 地区住民から松枯れが多くみられる中、松林は地域のシンボルとなっており、松枯れ防止を図ってほしい。 また、保存のために、事業を行っていただいていることをありがたく思っている。との声をいただいた。</p>

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	里海・里山保全事業
事業費		2,786,940 円(うち交付金 2,737,433 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性

【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
市による委託契約

【実施方法の選定理由】
市の管理する公園であるため、市が発注しました。

【契約方法と落札率または補助率等】
指名競争入札(落札率92.5%)

【契約相手方の選定理由】
指名競争入札による。

【事業費の積算根拠】
平成30年度 森林病虫害防除事業単価表(松くい虫事業関係)三重県
平成30年度 森林環境創造事業 実施単価表 三重県

5. 公益性（波及度）

【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】
甲賀地区地域住民 2,777人 1,215世帯 安乗地区地域住民 1,617人 685世帯（市民課資料）
志摩市観光客(阿児地区) 1,068,134人(観光商工課資料)

【管理責任者（森林所有者）への対応】
個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。

【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】
市の施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 周知実績と今後の周知

【実施前の実績】
市ホームページに掲載している。
税を活用し実施する事業である旨の看板を設置し、周知した。

【実施中の実績】
作業中の看板に本事業にみえ森と緑の県民税を活用している旨の表示を行った。

【実施後の実績】
市ホームページに掲載している。
広報誌によりみえ森と緑の県民税を活用して実施した事業として紹介した。

【今後の見込】
市広報に掲載を予定している。(6月号) パネルを設置する。

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	里海・里山保全事業
-----	-----------



写真1
安乗岬園地 松枯れ状況

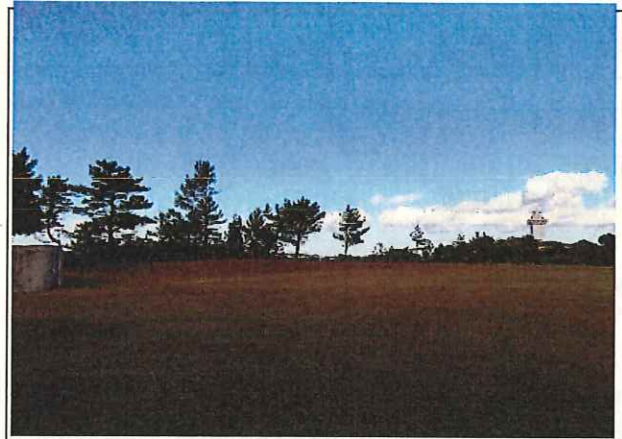


写真2
伐採処理後状況

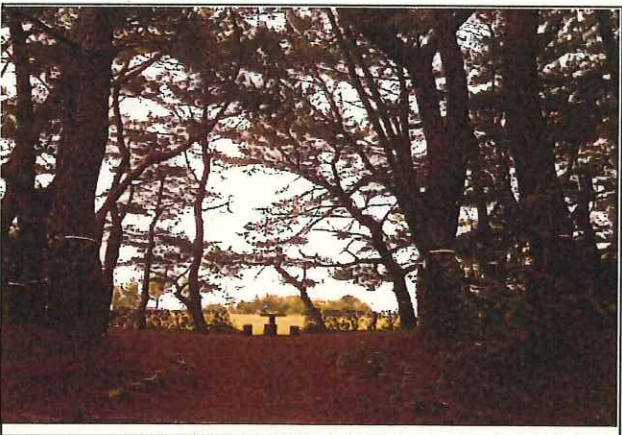


写真3
安乗岬園地



写真4
薬剤樹幹注入状況



写真5
周知看板



写真6
休憩舎内のパネル展示の様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本	里山体験事業
事業費	814,567 円(うち交付金	814,567 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的
 里山を守り、生かしていくために、子供たちや市民に里山の大切さを伝えることを目的とし、里山を身近に感じてもらうためにツリーイング(ツリークライミング)や椎茸の菌打ち体験や炭焼き体験など体験学習を実施する。

2. 事業実績概要
【事業内容】
 市内の環境林をフィールドとして、子供、親子を対象に森林に触れ合う機会を創出するためにツリークライミングや森林内で森林環境学習を実施した。また、一般の方を対象に天然林(人工林)の管理・天然林(人工林)の利用についての講習会や椎茸の菌打ち体験、炭焼き体験等の体験学習を開催した。炭焼き体験において飾り炭作りや子供たちに焼き杉板によるネームプレート作りを体験してもらった。
【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】
 志摩市
【補助率等】
 補助事業ではなく、該当しない。
【箇所数】
 1箇所 阿児町鶴方地区創造の森横山及び周辺施設内
【事業量】
 講習会を3回(延べ4日)開催した。
【事業実施期間】
 木とふれあう講習会(ツリーイング体験・森林環境学習) 10月14日(日)、森林保全講習会(木の伐採体験・シイタケ菌打ち体験)12月1日(土)、山の恵み講習会(炭焼き体験) 1月20日(土)、2月3日(土)
【受益者、参加者、利用者数等】
 1. 木とふれあう講習会 29名 2. 森林保全講習会 44名
 3. 山の恵み講習会 1回目41名 2回目42名 延べ83名

3. 有効性
【実施箇所の選定理由】
 伊勢志摩国立公園第2種特別区域内であり、自然豊かな場所であること。天然林の伐採体験の実施箇所は、伐採した木を炭焼の原料とするため、炭焼窯の近い市有林を選定した。炭窯は、市民に貸し出し用の市の施設であるから。
【実施した効果】
 子供たちや市民の方に森林が持つ多面的機能の理解と関心を広げて学ぶ(体験)する場を作ることができた。
【実施箇所の今後の管理体制】
 施設等整備でなく、該当しない。
【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】
 今後とも年間を通じて、体験型講習会を実施する。
【実施内容に対する住民等の反応】
 講習会の最後にアンケートを実施し、参加者から講習会の感想、森林に対する思いやみえ森と緑の県民税についての意見を聞いている。アンケート結果は、身近な体験ができるような形で、税を活用してほしいとの意見をいただいている。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本	里山体験事業
事業費	814,567 円(うち交付金)	814,567 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性
<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>1. 木とふれあう講習会 委託 2. 森林保全講習会 委託 3. 山の恵み講習会 講師依頼</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>木とふれあう講習会(自然体験学習)は、ツリーイングのインストラクターの資格を持つ団体(法人)に依頼した。森林施業講習会においては、森林施業の資格を有す団体(森林組合)に依頼した。山の恵み講習会(炭焼き体験)においては、ボランティア活動の経験のある方に講師をお願いした。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>随意契約（1社） 木とふれあう講習会(自然体験学習)の開催に当たっては、随意契約を行っています。 随意契約（1社） 森林保全講習会の開催に当たっては、随意契約を行っています。</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>市の規定(地方自治法施行令第167条の2第1項第1号及び志摩市契約規則第21条第1項ただし書き)に基づき、一者と随意契約とした。一者の随意契約理由:木とふれあう講習会(自然体験学習) 一般社団法人熊野レストレーションは、みえ森と緑の県民税を活用し設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録があり、かつ、業務に必要な資格、経験を有しているから。森林保全講習会 いせしま森林組合は、みえ森と緑の県民税を活用し設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録があり、かつ、高度な技術を有しているから。</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>見積書 三重県林業関係の標準歩掛(人件費) 志摩市講師に対する謝礼支払基準(平成25年10月15日制定)</p>

5. 公益性（波及度）
<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>木とふれあう講習会(自然体験学習) 29名 森林保全講習会(木の伐採体験・シイタケ菌打ち体験) 44名 山の恵み講習会(炭焼き体験) 1回目 41名 2回目 42名 述べ83人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>講習会の開催であるため、該当しない。</p>

6. 周知実績と今後の周知
<p>【実施前の実績】</p> <p>参加者募集のチラシにロゴマークを入れた。市ホームページにおいて参加者募集の案内文にみえ森と緑の県民税を活用し開催している旨の文書を記載した。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>受付、会場案内や受付簿等にみえ森と緑の県民税のロゴマークを入れた。また、のぼりを立てた。</p> <p>【実施後の実績】</p> <p>市ホームページに掲載している。</p> <p>【今後の見込】</p> <p>市広報に掲載を予定している。(6月号)</p>

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	里山体験事業
-----	--------



写真1

LEAF森林環境教育



写真2

ツリーイング体験



写真3

周知(のぼり)



写真4

周知(立看板)



写真5

伐採方法の説明



写真6

伐採体験

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	里山体験事業
-----	--------



写真1
シイタケ菌打ち体験



写真2
周知(のぼり)



写真3
炭焼き体験(焼きあがった炭の取り出し)



写真4
集合写真



写真5
焼き板によるネームプレート作り



写真6
焼き板によるネームプレート作り

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	中学校木製備品購入事業
事業費	11,052,720 円(うち交付金	11,020,000 円 うち基金活用 円)

1. 事業の目的	<p>学校に設置されている備品等について、三重県産材で製作された家具等を設置することにより、木の薫る空間づくりに寄与するとともに子どもたちの教育環境を整えることを目的とする。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 中学校の技術室や美術室等の机や椅子を三重県産木材に切り替えていく。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 志摩市</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 市内中学校4校(大王中学校、東海中学校、文岡中学校、磯部中学校)</p> <p>【事業量】 (技術室) 閲覧机5台 作業台18台 作業椅子167脚 (彫塑工芸室) 作業台8台 作業椅子48脚 (図工室) 作業椅子40脚</p> <p>【事業実施期間】 平成30年6月1日～平成31年3月21日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 中学校生徒数計912名(大王中学校、東海中学校、文岡中学校、磯部中学校)</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 市内全校の老朽化が著しく、4校が特に要望が強かったため。</p> <p>【実施した効果】 室内の温度変化が緩和され、快適な教育環境を作ることができた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 学校自体がセキュリティ管理されており、各教室も施錠できる体制である。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 授業において活用・使用している。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 三重県産木材の利用や自然素材を使用しているところがいいとの声があった。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	中学校木製備品購入事業
事業費	11,052,720 円(うち交付金)	11,020,000 円 うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 請負により実施。</p> <p>【実施方法の選定理由】 木製備品納入実績がある業者を選定。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 契約方法:指名競争入札 落札率:94.09%。</p> <p>【契約相手方の選定理由】 木製備品を扱う市内に営業所を有する10業者のうち、入札参加照会アンケートに回答のあった4業者により入札。</p> <p>【事業費の積算根拠】 入札の結果、予算の範囲内であった。</p>
--------	--

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 各中学校へ生徒数の確認を行った。</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 すべて教室内での備品のため、転用等は行わない。</p>
-------------	--

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 みえ森と緑の県民税を活用し、木製備品を購入することを市内4校の学校長、教頭に対し周知をおこなった。みえ森と緑の県民税のパンフレットを配付した。広報誌によりみえ森と緑の県民税を活用して実施する事業として紹介した。</p> <p>【実施中の実績】 物品を購入する事業であり「実施中」に該当する期間がないため、実施前後に周知した。</p> <p>【実施後の実績】 製品の一部に「三重県産」と印字し、学校新聞への掲載を行った。市のホームページ利用し、事業の説明を記載、周知した。広報誌によりみえ森と緑の県民税を活用した事業として紹介した。</p> <p>【今後の見込】 税を活用した今年度の事業実績を他の小学校に紹介し、税の用途を周知し、取組を広げていく見込み。</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分	3. 森を育む人づくり
------	-------------

市町名	志摩市
-----	-----

事業名	中学校木製備品購入事業
-----	-------------

7. 写真



写真1
ヒノキ 三重県産



写真2
ヒノキ 三重県産



写真3
文岡中学校



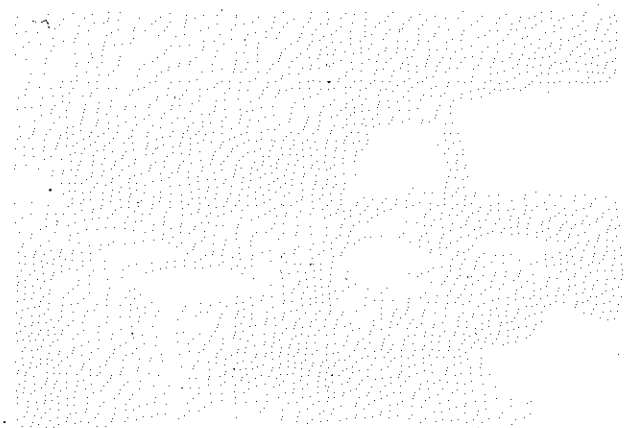
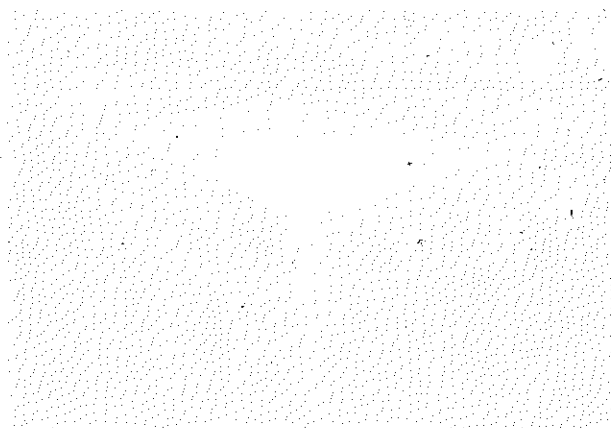
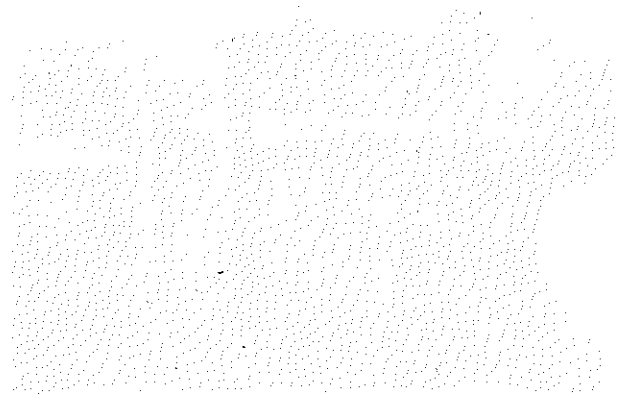
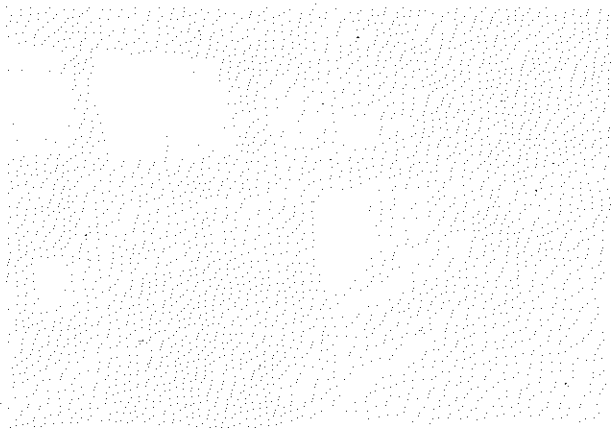
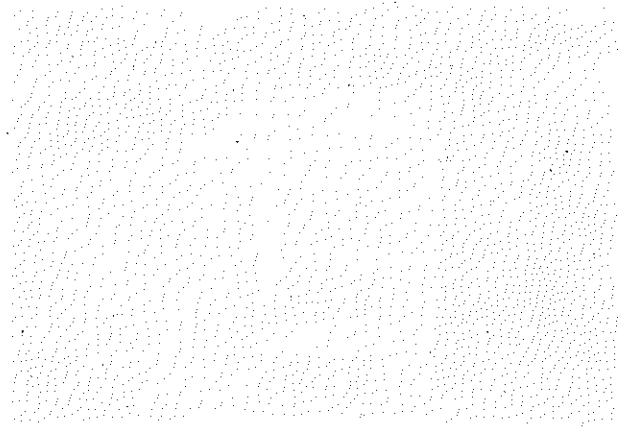
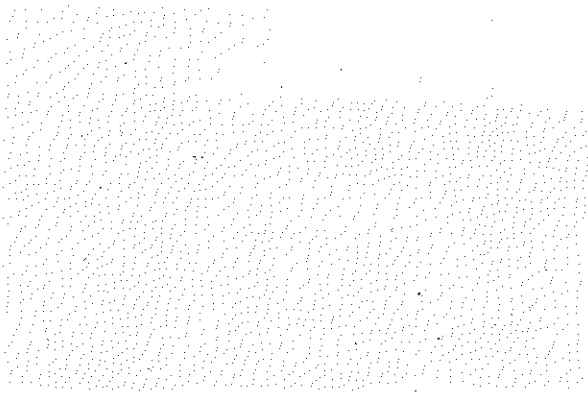
写真4
磯部中学校



写真5
東海中学校



写真6
大王中学校



対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	玉城町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	公共施設木質化事業
事業費	9,201,600 円(うち交付金	9,201,067 円 うち基金活用 652,067 円)

1. 事業の目的
 町内小学校の特別教室等の床を県産材で木質化し、また町内保育所へ県産材を活用した下駄箱を導入することで、木材利用の促進と森林の必要性を町民に理解してもらうことを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ・町内小学校の特別支援教室等の床をタイルカーペットから県産材で木質化する。
- ・町内保育所へ県産材を活用した下駄箱を導入する。

【実施主体(補助事業は補助事業実施主体)】
 玉城町

【補助率等】
 補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】

- ・小学校2箇所
- ・保育所1箇所

【事業量】

- ・田丸小学校(特別支援教室 57.4㎡)
- ・下外城田小学校(特別支援教室・図書室 90.6㎡)
- ・外城田保育所 13基

【事業実施期間】
 平成30年10月5日～平成31年3月29日

【受益者、参加者、利用者数等】
 生徒数 527人、児童数 153人

3. 有効性

【実施箇所の選定理由】

- ・木とふれあえる保育環境・教育環境を園児・生徒や保護者に提供することで、木材の活用の促進と森林づくりへの理解を得るため。

【実施した効果】

- ・木とふれあえる保育環境・教育環境を園児・生徒や保護者に提供したことで、木材の活用の促進と森林づくりへの理解が進んだ。

【実施箇所の今後の管理体制】

- ・小中学校を所管する教育委員会事務局で管理。
- ・保育所を所管する生活福祉課で管理。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】

- ・田丸小学校・下外城田小学校：特別支援教室の授業の場
- ・外城田保育所：毎日の集団生活の中で木とふれあう

【実施内容に対する住民等の反応】

- ・県産材により床を木質化したことにより児童、生徒、教職員から環境(明るさ、木の温もりを感じる)が良くなったとの声をいただいている。
- ・県産材により下駄箱を整備したことにより園児、保護者から環境(明るさ、清潔感を感じる)が良くなったとの声をいただいている。
- ・引き続き、公共建築物に積極的に県産材を利用していく。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	玉城町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	公共施設木質化事業
事業費	9,201,600 円(うち交付金	9,201,067 円 うち基金活用 652,067 円)

<p>4. 効率性</p> <p>【実施方法(委託(請負)、補助、その他)】 床の木質化:町による工事請負契約 下駄箱整備:備品購入契約</p> <p>【実施方法の選定理由】 町有施設のため、転用等が想定されず、該当しない。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 設計委託 : 随意契約 床木質化 : 指名競争入札による 落札率 83.1%、92.5% 下駄箱整備 : 指名競争入札による 落札率 99.2%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 設計委託 : 随意契約(地方自治法施行令第167条の2第1項第1号) 床木質化 : 指名競争入札による 下駄箱整備 : 随意契約(指名競争及び随意契約に関する条例第3条第16号)</p> <p>【事業費の積算根拠】 他事業の単価と歩掛を参考にして積算を行った。 添付の設計書による。</p>
<p>5. 公益性(波及度)</p> <p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 小学校と保育所の園児と生徒の数から、約680人と見込んでいます。</p> <p>【管理責任者(森林所有者)への対応】 個人が所有する森林等整備ではないため、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 町有施設のため、転用等が想定されず、該当しない。</p>
<p>6. 周知実績と今後の周知</p> <p>【実施前の実績】 施設関係者に教育委員会を通じ該当校へみえ森と緑の県民税を活用し床の木質化をすることを周知。 施設関係者に生活福祉課を通じ該当保育所へみえ森と緑の県民税を活用し下駄箱整備することを周知。</p> <p>【実施中の実績】 工事看板によりみえ森と緑の県民税を活用していることを周知した。 広報誌により、みえ森と緑の県民税を活用した事業として紹介した。</p> <p>【実施後の実績】 みえ森と緑の県民税ロゴマークを施設壁面に掲示している。</p> <p>【今後の見込】 今後も引き続き公共施設を中心にみえ森と緑の県民税を活用し県産材を利用すると共に税の周知を広報誌やホームページで行っていく。</p>
<p>7. 写真</p> <p>別紙のとおり</p>
<p>8. その他特記事項</p>

対策区分	4. 木の薫る空間づくり
------	--------------

市町名	玉城町
-----	-----

事業名	公共施設木質化事業
-----	-----------

7. 写真

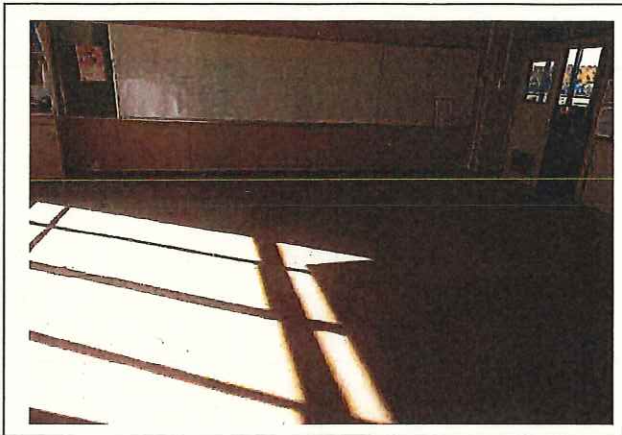


写真1
田丸小学校床改修工事 施工前

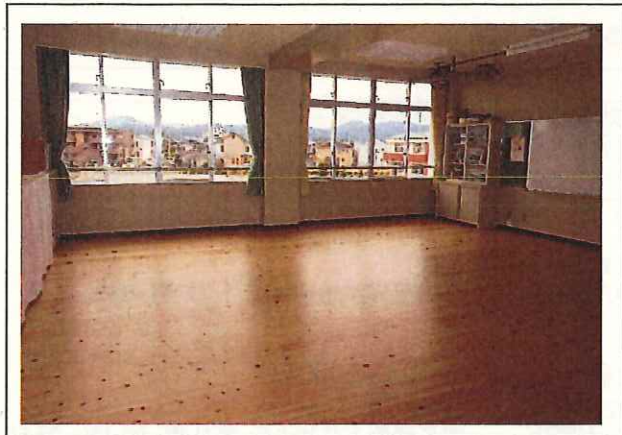


写真2
田丸小学校床改修工事 施工後

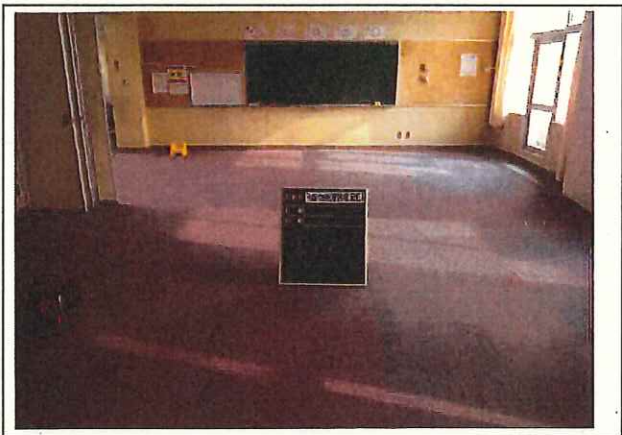


写真3
下外城田小学校床改修工事 施工前

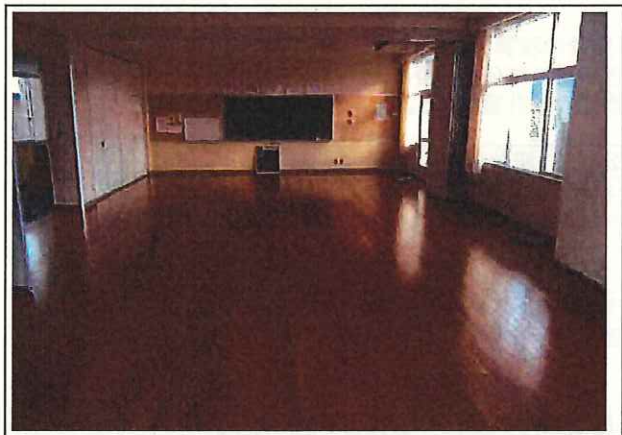


写真4
下外城田小学校床改修工事 施工後



写真5
外城田保育所下駄箱 施工前



写真6
外城田保育所下駄箱 施工後

平成30年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業 実績一覧

市町名	度会町
-----	-----

当年度交付金額	16,957,000	円 (ほか、市町基金活用)	9,740,000	円)
---------	------------	---------------	-----------	----

	事業名	対策区分	交付金充当額	当年度交付金	ほか、市町基金
1	森林環境教育推進事業	3. 森を育む人づくり	97,400	97,400	0
2	小学校県産材備品導入事業	3. 森を育む人づくり	933,120	933,120	0
3	危険木伐採事業	2. 暮らしに身近な森林づくり	1,736,000	1,736,000	0
4	保育所県産材備品導入事業	3. 森を育む人づくり	2,300,400	2,300,400	0
5	倒木・土砂撤去事業	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	2,783,080	2,681,080	102,000
6	流倒木撤去事業	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	4,500,000	3,000,000	1,500,000
7	公園整備事業	4. 木の薫る空間づくり	6,750,000		6,750,000
8	中之郷保育所改修工事	4. 木の薫る空間づくり	7,597,000	6,209,000	1,388,000
	合計		26,697,000	16,957,000	9,740,000

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	森林環境教育推進事業
事業費	97,416 円(うち交付金)	97,400 円 うち基金活用 (円)

1. 事業の目的	町や山林の将来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森や緑の大切さについての理解を深める。
2. 事業計画概要	<p>【事業内容】 小学3年生を対象に森林・林業に関する出前授業を実施</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 1箇所(度会小学校)</p> <p>【事業量】 1回</p> <p>【事業実施期間】 平成31年2月14,15日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 受講者 73人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 小学生に森林・林業へ関心を持つきっかけを作り、森や緑の大切さについての理解を深めるため</p> <p>【実施した効果】 木や森と接する機会が少ない現代の子供たちにとって、貴重な教育であり、森林に興味を持つ良い機会となった。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 施設等の整備ではなく該当しない</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 今後も継続的に実施し、子供のうちから森や緑の大切さについて理解を深める。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 児童からは山について、知識が深まったと回答を得ている。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	森林環境教育推進事業
事業費	97,416 円(うち交付金)	97,400 円 うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 委託</p> <p>【実施方法の選定理由】 業者が実施することで、専門的な知見から適切な教育を実施できるため。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 随意契約</p> <p>【契約相手方の選定理由】 林業事業体であり、近隣市町での実績があるため。</p> <p>【事業費の積算根拠】 参考見積</p>
--------	---

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 73名(小学3年生児童)</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 森林等の整備ではなく該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 教育の実施であり、転用等が想定されず該当しない</p>
-------------	--

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載</p> <p>【実施中の実績】 授業実施中、のぼりを掲示</p> <p>【実施後の実績】 広報および伊勢新聞に掲載</p> <p>【今後の見込】 今後も継続的に実施し、森林環境教育の推進に努める。</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分 4. 木の薫る空間づくり

市町名 度会町

事業名 森林環境教育推進事業

7. 写真

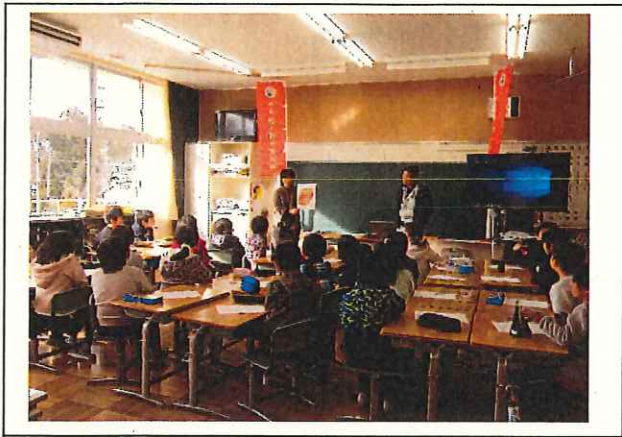


写真1

実施状況①



写真2

実施状況②

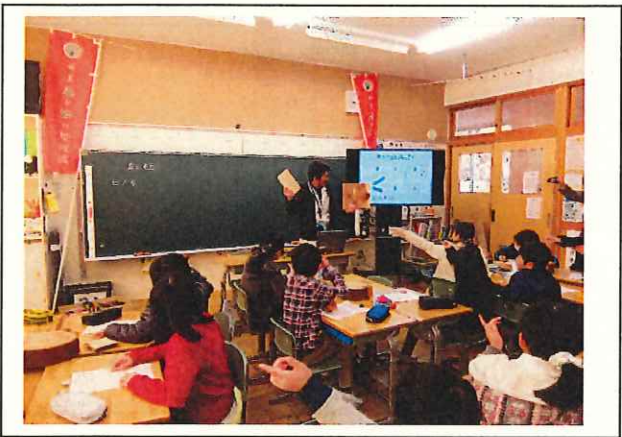


写真3

実施状況③



写真4

実施状況④

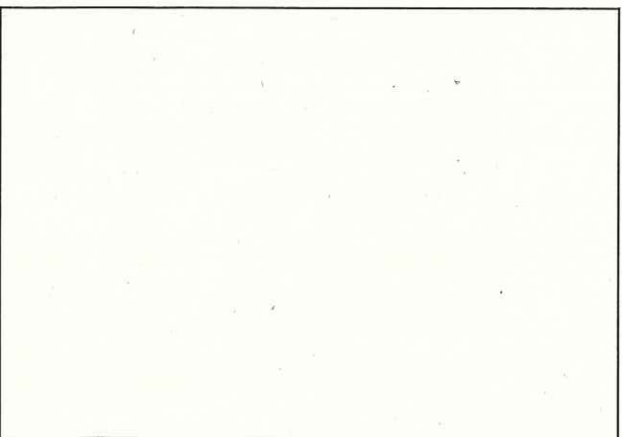


写真5

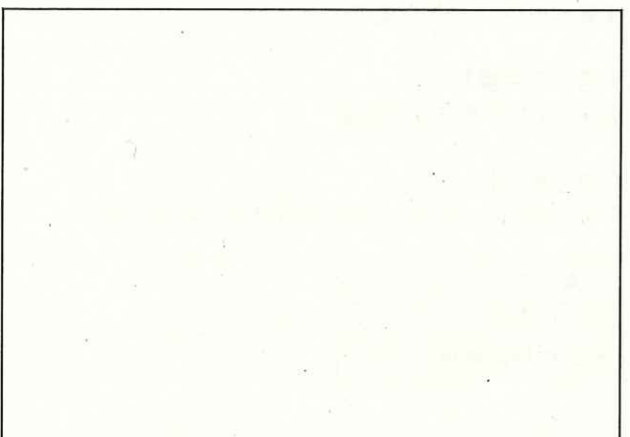


写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町
番号	区分	事業名		
2	基本	小学校県産材備品導入事業		
事業費	933,120 円(うち交付金	933,120 円	うち基金活用	円)

1. 事業の目的	町立小学校に県産材を活用した木製備品を導入することで、木材利用を促進するとともに、木材とふれあう機会を創出する。
2. 事業計画概要	<p>【事業内容】 県産材木製品による小学校備品の整備</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 1か所(度会小学校)</p> <p>【事業量】 木製教卓12基</p> <p>【事業実施期間】 平成30年7月31日～平成30年11月29日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 生徒数406人、職員数27人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 身近な備品を木質化し、多くの生徒が木に触れる機会を増やすことで木材や森林に興味をもつ機会を創出するため。</p> <p>【実施した効果】 木製品が身近にあることで、木材や森林に興味をもつ機会を創出できた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 町が管理を行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 過年度に実施した啓発物品(読本)の購入や森林環境教育推進事業により、多角的に木材利用や森林づくりへの理解を進める。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 教職員からきれいになり好評であることを聴取。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本	小学校県産材備品導入事業
事業費		933,120 円(うち交付金 933,120 円 うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 物品の購入</p> <p>【実施方法の選定理由】 町施設のため</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 随意契約(落札率82.1%)</p> <p>【契約相手方の選定理由】 最低金額見積業者(3社見積)</p> <p>【事業費の積算根拠】 参考見積</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 生徒数406人、職員数27人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 森林等の整備ではなく、該当しない</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 公共施設整備であるため、転用等が想定されず該当しない</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載</p> <p>【実施中の実績】 備品購入のため該当しない</p> <p>【実施後の実績】 広報紙に掲載、備品に県民税のロゴマークを刻印済み</p> <p>【今後の見込】 継続して実施していく森林環境教育推進事業と併せて周知に努める。</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 度会町

事業名 小学校県産材備品導入事業

7. 写真

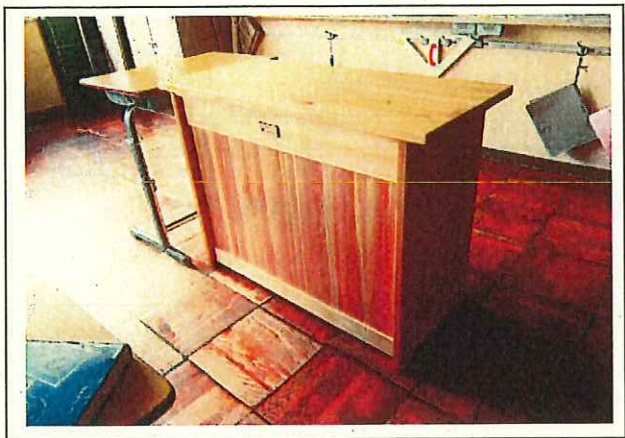


写真1 事業後①

写真2 事業後②



写真3 事業前①

写真4 事業前②

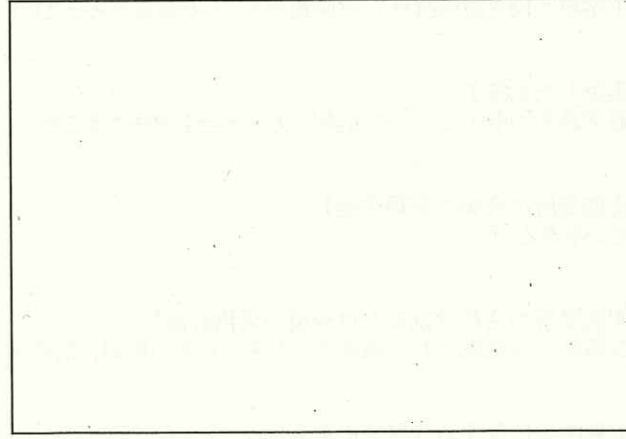
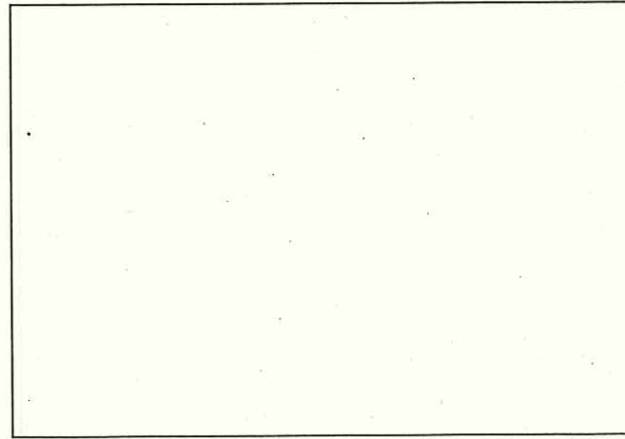


写真5

写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	危険木伐採事業
事業費	1,736,920 円(うち交付金	1,736,000 円 うち基金活用 円)

1. 事業の目的	<p>小学校通学路の倒木のおそれのある危険木を除去し、通学路を利用する生徒および近隣住民の安全を確保する。</p>
2. 事業計画概要	<p>【事業内容】 小学校通学路周辺の危険木伐採</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 1箇所(度会小学校付近)</p> <p>【事業量】 1箇所</p> <p>【事業実施期間】 平成30年6月20日～平成30年8月31日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 利用者 約200人/日</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 小学校へ聞き取りを行い、危険箇所としての要望があったため。</p> <p>【実施した効果】 通学路を利用する生徒や近隣住民の安全を確保することができた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 町が管理を行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 広報等への掲載により、施業状況と税の目的の周知に活用する。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 小学校職員より、通学路上の危険が減り、風が強い日の登下校時に心配なくて済む、との回答を得ている。</p>

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
番号	区分	事業名	
3	基本	危険木伐採事業	
事業費	1,736,920 円(うち交付金	1,736,000 円	うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 委託</p> <p>【実施方法の選定理由】 樹高が高く、専門業者に委託することで、安全に配慮した施工が可能。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 随意契約(3社見積) 落札率97.3%</p> <p>最低価格見積者</p> <p>【事業費の積算根拠】 参考見積書</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 利用者 約200人/日 小学校への通学での利用児童および近隣住民の利用状況により推定</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備でなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 町有地であるため、転用等が想定されず該当しない。</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載、関係者への説明を実施。</p> <p>【実施中の実績】 工事看板に県民税を活用した事業である旨を記載。</p> <p>【実施後の実績】 広報に掲載</p> <p>【今後の見込】 他事業も含め、税の目的や活用状況等を広報でPRしていく</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 度会町

事業名 危険木伐採事業

7. 写真



写真1
事業前①

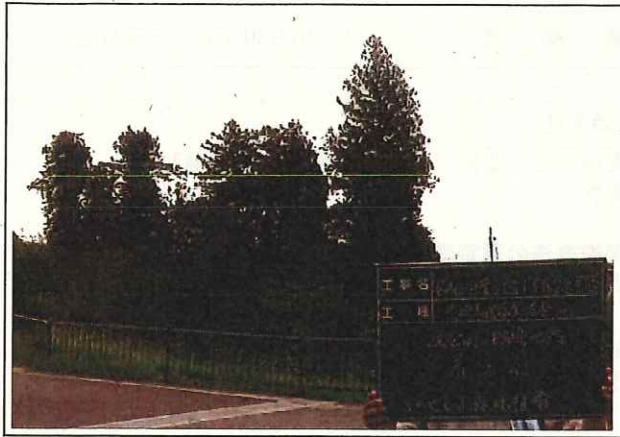


写真2
事業前②

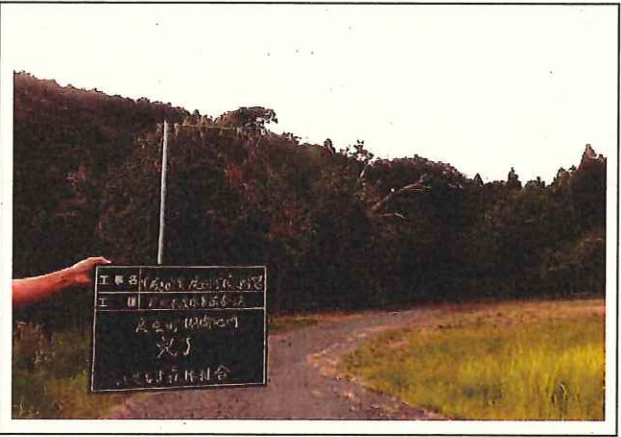


写真3
事業後①



写真4
事業後②

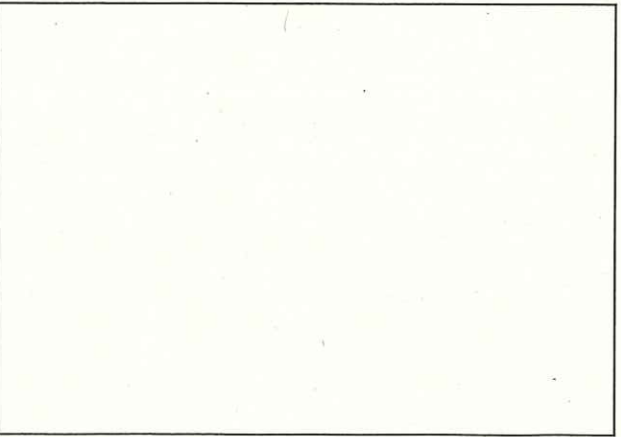


写真5

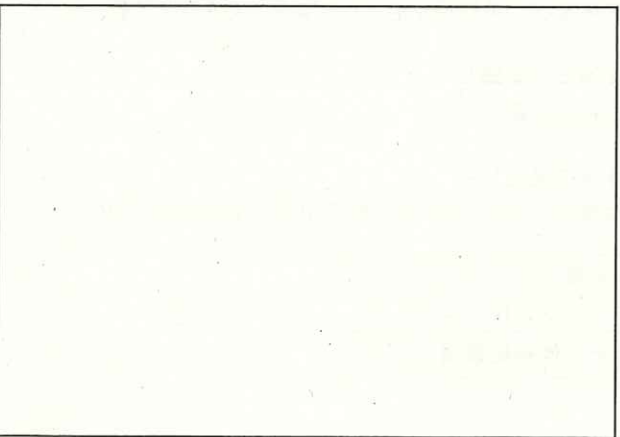


写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町
番号	区分	事業名		
4	基本	保育所県産材備品導入事業		
事業費	2,300,400 円(うち交付金	2,300,400 円	うち基金活用	円)

1. 事業の目的	
<p>木製備品の更新にあたり、県産材を活用することで、木材利用を促進する。 また、新しい木製備品により、木の良さを再確認する機会を創出し、木材利用の意識を醸成する。</p>	
2. 事業計画概要	
<p>【事業内容】 町内保育所のざら板を県産材を活用して更新する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく該当しない</p> <p>【箇所数】 2箇所(棚橋保育所、中之郷保育所)</p> <p>【事業量】 76枚(棚橋保育所59枚、中之郷保育所17枚)</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月21日～平成31年3月29日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 児童数 203人</p>	
3. 有効性	
<p>【実施箇所の選定理由】 ささくれ等が発生しており危険であった保育所を対象に実施。</p> <p>【実施した効果】 木製品に触れる頻度が増えたことにより、木の良さを感ずる機会の増加に繋がった。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 町が管理を行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 過年度に実施した啓発物品の導入や、施設の木質化と併せ、多角的に木材にふれる機会の創出に努める。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 保育所職員から危険がなくなり安心できるとの回答を得ている。</p>	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本	保育所県産材備品導入事業
事業費	2,300,400 円(うち交付金 2,300,400 円 うち基金活用 円)	

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 物品の購入</p> <p>【実施方法の選定理由】 町管理施設のため、町が購入</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 指名競争入札(3社) 落札率97.9%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 最低価格入札者</p> <p>【事業費の積算根拠】 参考見積書</p>
--------	--

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 児童数203人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 備品購入であるため、転用等が想定されず該当しない</p>
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載、施設関係者へ周知。</p> <p>【実施中の実績】 物品購入のため該当しない</p> <p>【実施後の実績】 広報に掲載</p> <p>【今後の見込】 過年度に実施した啓発物品の導入や、施設の木質化と併せ、総合的に周知していく。</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 度会町

事業名 保育所県産材備品導入事業

7. 写真

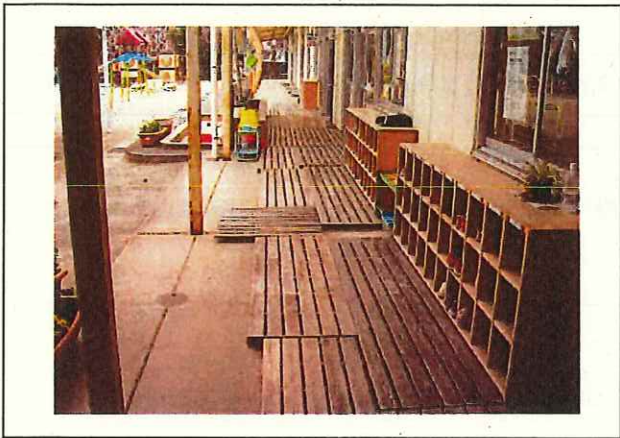


写真1 事業前(棚橋保育所)

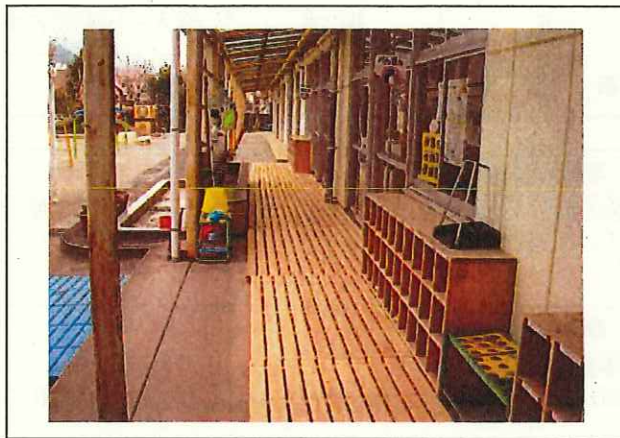


写真2 事業後(棚橋保育所)

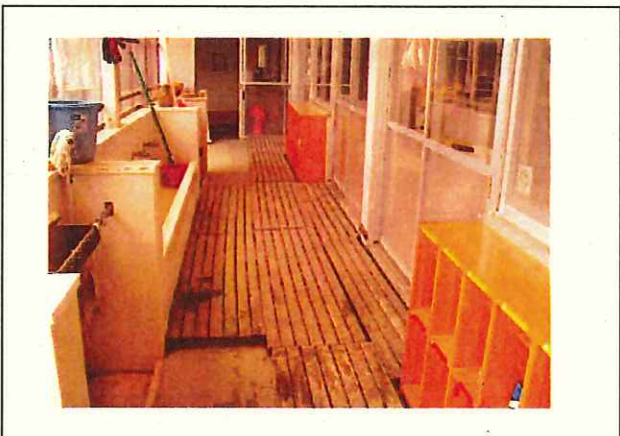


写真3 事業前(中之郷保育所)

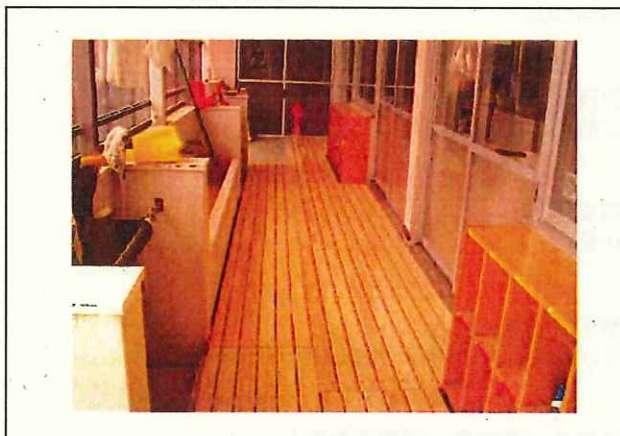


写真4 事業後(中之郷保育所)



写真5 棚橋保育所



写真6 中之郷保育所

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	度会町
------	--------------------	-----	-----

番号	区分	事業名
5	基本	倒木・土砂撤去事業
事業費	2,808,000 円(うち交付金	2,783,080 円 うち基金活用 102,000 円)

1. 事業の目的	<p>溪流沿いや排水施設等に堆積した流木や土砂は、下流域や道路施設への災害につながる恐れがあり、これらを撤去することで、災害の拡大を防止する。</p>
2. 事業計画概要	<p>【事業内容】 西山川、小萩川、一之瀬川上流の溪流部における、堆積した流倒木、土砂の除去および倒れかけている立木の伐採</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 該当しない</p> <p>【箇所数】 18箇所</p> <p>【事業量】 18箇所</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月25日～平成31年2月18日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 小川地区(西山川沿い):44戸、131名 小萩地区(小萩川沿い):31戸、63名 川上地区(一之瀬川沿い):19戸、65名</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 台風や豪雨により発生した流倒木および土砂が堆積しており、下流域への影響が懸念される箇所を選定。</p> <p>【実施した効果】 流倒木や土砂等の撤去により、下流域の災害の拡大が抑制され、安全性の向上につながった。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 流倒木や土砂等の発生によって緊急的な対応が必要な場合は町が対応していく。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 広報等への掲載により、施業状況と税の目的の周知に活用する。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 下流域の住民への聞き取りにより、下流へ流れ出る心配が減り、安心できる等の回答を得ている。</p>

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	度会町
番号	区分	事業名	
5	基本	倒木・土砂撤去事業	
事業費	2,808,000 円(うち交付金	2,783,080 円 うち基金活用	102,000 円)
4. 効率性			
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 業務委託			
【実施方法の選定理由】 専門業者へ委託することで、施工性や安全性の確保した施業が可能である。			
【契約方法と落札率または補助率等】 指名競争入札(3社) 落札率79.1%			
【契約相手方の選定理由】 最低価格入札者			
【事業費の積算根拠】 参考見積書			
5. 公益性（波及度）			
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 小川地区(西山川沿い):44戸、131名 小萩地区(小萩川沿い):31戸、63名 川上地区(一之瀬川沿い):19戸、65名			
【管理責任者（森林所有者）への対応】 森林所有者へは、適切な管理をお願いする。			
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 流倒木や土砂等の撤去であり、実施箇所の転用、目的外使用の規制等は設けない。			
6. 周知実績と今後の周知			
【実施前の実績】 町ホームページに掲載			
【実施中の実績】 工事看板に税の活用事業である旨を記載。			
【実施後の実績】 広報に掲載			
【今後の見込】 他事業も含め、税の目的や活用状況等を広報でPRしていく			
7. 写真			
別紙のとおり			
8. その他特記事項			

対策区分 1. 土砂や流木を出さない森林づくり

市町名 度会町

事業名 倒木・土砂撤去事業

7. 写真



写真1

着工前①



写真2

施工後①

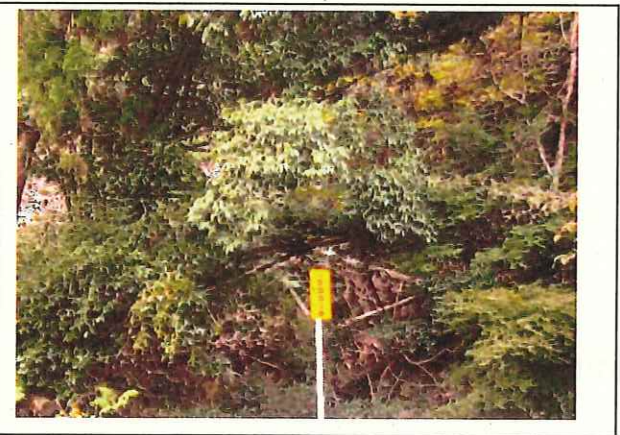


写真3

着工前②



写真4

施工後②

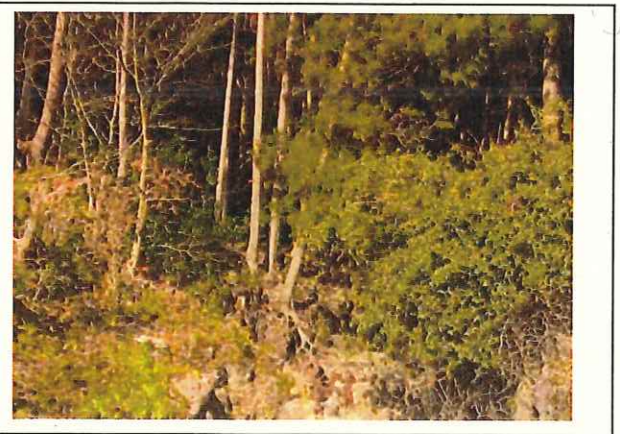


写真5

着工前③



写真6

施工後③

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	度会町
番号	区分	事業名	
6	基本	流倒木撤去事業	
事業費	4,754,160 円(うち交付金	4,500,000 円	うち基金活用 1,500,000 円)

1. 事業の目的
 度重なる大雨により、河川上流の護岸が浸食され、多くの木が倒れかかっており、また、堆積した土砂により 川の流れが変わり、本来河川でない山の裾など低い所を水が流れその土地も浸食されている。これにより、立木や間伐された残木も流されて橋に詰まる等、下流域において災害を拡大させるおそれがあるため、護岸付近の倒木や根元の表土が流失している立木を除去し、災害の拡大を抑制する。

2. 事業計画概要
【事業内容】
 河川沿いの流倒木の除去および根本の表土が流失している立木の伐採

【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】
 度会町

【補助率等】
 補助事業ではなく該当しない

【箇所数】
 12箇所(川上地区、一之瀬川沿線)

【事業量】
 83本(立木53本、流倒木30本)

【事業実施期間】
 平成31年1月21日～平成31年3月27日

【受益者、参加者、利用者数等】
 下流域 19世帯、68名(川上地区)
 県道度会大宮線利用者 約2000人/年

3. 有効性
【実施箇所の選定理由】
 流倒木等の下流への流出の危険がある箇所を実施。

【実施した効果】
 流倒木や倒れかかっている立木を除去することにより、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性が向上した。

【実施箇所の今後の管理体制】
 流倒木の発生によって緊急的な対応が必要な場合は町が対応していく。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】
 森林環境教育の実施等と関連付けながら、木材や森林に関心を持ってもらうよう取り上げる。

【実施内容に対する住民等の反応】
 当該河川の下流域の住民より、倒木が除去されたことで流れ出る心配がなくなった、との回答を得ている。

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	度会町
------	--------------------	-----	-----

番号	区分	事業名
6	基本	流倒木撤去事業
事業費	4,754,160 円(うち交付金	4,500,000 円 うち基金活用 1,500,000 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 業務委託</p> <p>【実施方法の選定理由】 河川区域であるため町が実施</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 指名競争入札(3社) 落札率91%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 最低金額入札者</p> <p>【事業費の積算根拠】 参考見積書</p>
--------	---

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 下流域 19世帯、68名(川上地区) 県道度会大宮線利用者 約2000人/年</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 森林所有者へは、適切な管理をお願いする。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 流倒木の撤去であり、実施箇所の転用、目的外使用の規制等は設けない。</p>
-------------	--

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載</p> <p>【実施中の実績】 工事看板に税の活用事業である旨を記載</p> <p>【実施後の実績】 広報に掲載</p> <p>【今後の見込】 他事業も含め、税の目的や活用状況等を広報でPRしていく</p>
---------------	--

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分 1. 土砂や流木を出さない森林づくり

市町名 度会町

事業名 流倒木撤去事業

7. 写真



写真1

着工前①



写真2

施工後①



写真3

着工前②



写真4

施工後②



写真5

着工前③



写真6

施工後③

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	度会町
番号	区分	事業名	
7	基本	公園整備事業	
事業費	6,820,740 円(うち交付金	6,750,000 円 うち基金活用	6,750,000 円)

1. 事業の目的	町内外を問わず多数の住民が利用する宮リバー度会パークに、県産材を利用した木製遊具を設置することで、多くの子供たちが木材とふれあう機会を創出し木の良さを体感できる場を提供する。
2. 事業計画概要	<p>【事業内容】 宮リバー度会パークに木製遊具および木製ベンチを設置する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 度会町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく該当しない</p> <p>【箇所数】 1箇所</p> <p>【事業量】 木製遊具 1基 木製ベンチ 3基</p> <p>【事業実施期間】 木製遊具 平成31年1月8日～平成31年3月26日 木製ベンチ 平成31年2月22日～平成31年3月26日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 公園利用者(小学生以下) 約7,000人/年</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 町内で集客が見込める施設の1つであり、公園というアウトドア施設で自然も身近に感じられる環境のため。</p> <p>【実施した効果】 木材にふれあう機会を創出し、木材に関心を持ってもらうためのきっかけづくりとなっている。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 町が管理を行う。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 利用者が遊具やベンチを利用することで、木材にふれあう機会を増やし、木の良さを体感することができる。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 保護者からは、新しく遊具が増えるのは良い、また、子供を見守るのに近くに座る場所があるのもありがたい、との回答を得ている。</p>

対策区分	4. 木の薫る空間づくり		市町名	度会町
番号	区分	事業名		
7	基本	公園整備事業		
事業費	6,820,740 円(うち交付金		6,750,000 円 うち基金活用	6,750,000 円)
4. 効率性				
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 工事請負				
【実施方法の選定理由】 町施設の整備のため				
【契約方法と落札率または補助率等】 木製遊具 指名競争入札(5社) 入札率97.0% 木製ベンチ 随意契約				
【契約相手方の選定理由】 最低金額入札業者				
【事業費の積算根拠】 参考見積書				
5. 公益性（波及度）				
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 公園利用者(小学生以下) 約7,000人/年 入込客数調査より				
【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない				
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 町施設であり、転用等が想定されず該当しない				
6. 周知実績と今後の周知				
【実施前の実績】 町ホームページに掲載				
【実施中の実績】 工事看板に税活用事業である旨を記載				
【実施後の実績】 広報に掲載				
【今後の見込】 他事業も含め、税の目的や活用状況等を広報でPRしていく				
7. 写真				
別紙のとおり				
8. その他特記事項				

対策区分 4. 木の薫る空間づくり

市町名 度会町

事業名 公園整備事業

7. 写真



写真1
事業前



写真2
事業後



写真3
木製遊具



写真4
木製ベンチ



写真5
木製遊具



写真6
木製ベンチ

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	度会町
番号	区分	事業名	
8	特別	中之郷保育所改修工事	
事業費	36,572,040 円(うち交付金	7,597,000 円 うち基金活用	1,388,000 円)

1. 事業の目的
 待機児童をなくすために保育室の改修を行うにあたり、木質化を行うことにより木材の利用促進につなげる。また、幼い頃から直接木に触れ、五感を通して木材の良さを感じてもらう。

2. 事業計画概要

【事業内容】
 床張替、家具設置及び壁改修(木質化)

【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】
 度会町

【補助率等】
 補助事業ではなく、該当しない

【箇所数】
 1箇所 中之郷保育所

【事業量】
 保育室3室、ホフク室1室、休憩室1室、休養室1室、廊下
 床面積 257.4㎡、木材利用量 2.9㎡

【事業実施期間】
 平成30年6月21日～平成30年11月19日

【受益者、参加者、利用者数等】
 園児24名 保育士6名
 (園児定員45名)

3. 有効性

【実施箇所の選定理由】
 待機児童をなくすために保育室の改修を行うにあたり、木質化を行うことにより木材の利用促進につなげる。また、幼い頃から直接木に触れ、五感を通して木材の良さを感じてもらうため。

【実施した効果】
 保育所を木質化することで、木の良さをPRすることができている。

【実施箇所の今後の管理体制】
 町が管理を行う。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】
 過年度事業で実施した啓発物品(絵本)や木製玩具(積み木)を活用し、木質化された施設内で木育を推進する。

【実施内容に対する住民等の反応】
 保育士から木の温かみを感じられる内装で良いとの評価を得ている。

対策区分	4. 木の薫る空間づくり		市町名	度会町
番号	区分	事業名		
8	特別	中之郷保育所改修工事		
事業費	36,572,040 円(うち交付金	7,597,000 円	うち基金活用	1,388,000 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 工事請負</p> <p>【実施方法の選定理由】 専門業者が請負うことで円滑で高品質な施工が可能となるため</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 指名競争入札(10社) 落札率82.1%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 最低金額入札業者</p> <p>【事業費の積算根拠】 設計委託</p>
--------	---

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 園児24名 保育士6名 (園児定員45名)</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 公共施設整備であるため、転用等が想定されず該当しない</p>
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 町ホームページに掲載、関係者への説明を実施。</p> <p>【実施中の実績】 工事看板に税を活用した事業であることを記載。</p> <p>【実施後の実績】 広報に掲載。</p> <p>【今後の見込】 -</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分 4. 木の薫る空間づくり

市町名 度会町

事業名 中之郷保育所改修工事

7. 写真



写真1

改修後(保育室)



写真2

改修後(廊下)



写真3

改修前(保育室)

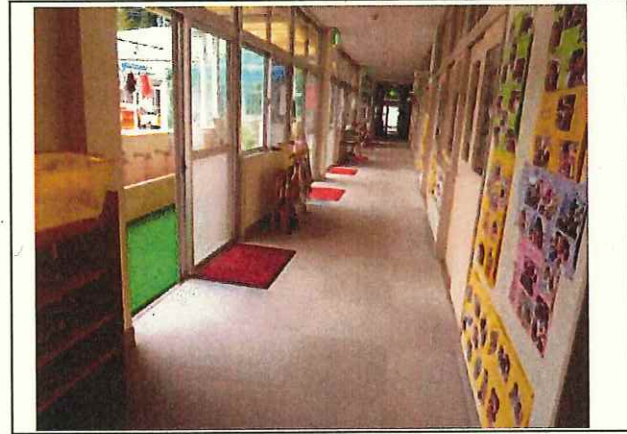


写真4

改修前(廊下)

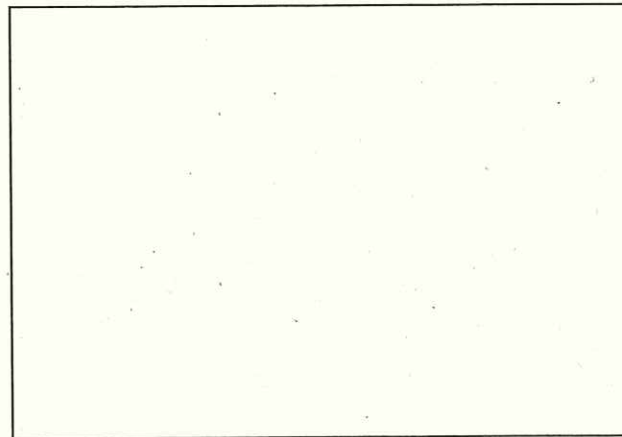


写真5

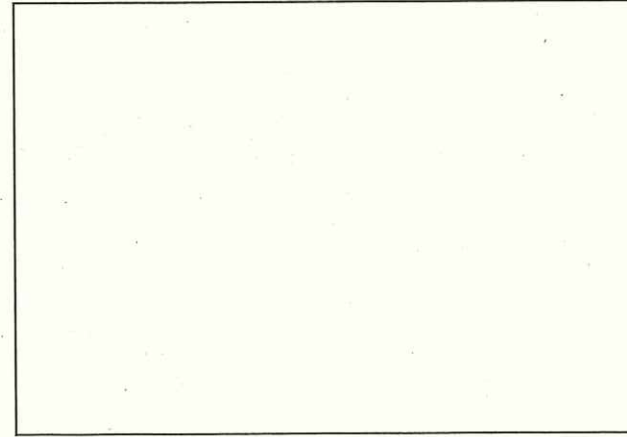
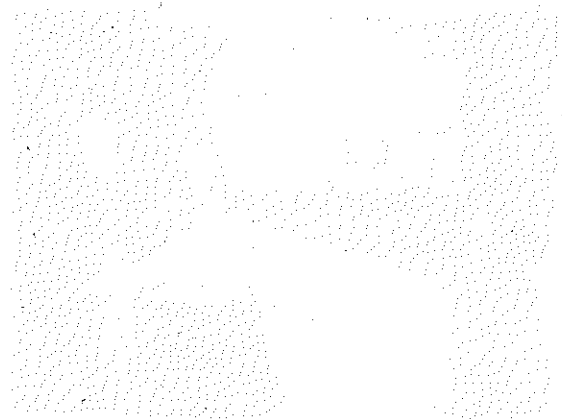
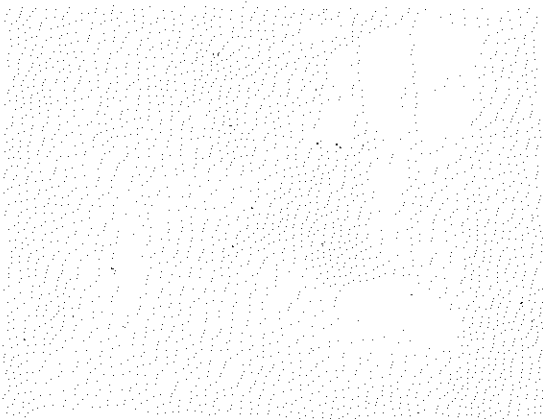
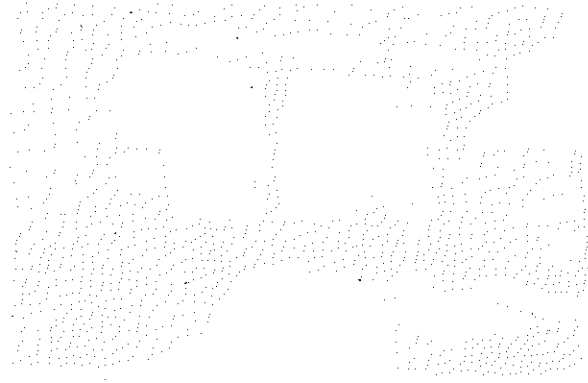
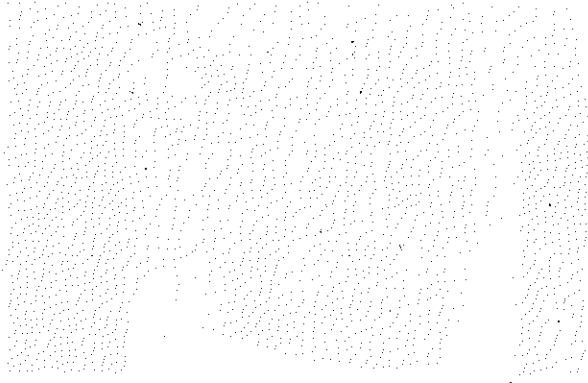


写真6



対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
------	----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	生活環境林整備事業
事業費	999,000 円(うち交付金	999,000 円 うち基金活用 0 円)

1. 事業の目的	<p>人家裏や生活道路沿いの倒木等の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしを安全を図る。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 倒木等の恐れがある人家裏や生活道路沿い等の危険木除去</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 大紀町</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 5箇所</p> <p>【事業量】 危険木等の除去 120本</p> <p>【事業実施期間】 平成30年10月16日～平成31年3月25日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 人数 75戸 400人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 特に危険度が高く、緊急を必要とする箇所から通学路や生活道路及び公共施設の危険木の除去を実施。</p> <p>【実施した効果】 地域住民及び学生の生活環境が向上し、安全が確保された。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 危険木等の発生による緊急的に必要な場合、町にて対応していく。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 看板の設置による税事業の実施の周知と、写真等の庁舎への掲示により周知する。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 聴き取りによると、生活環境が向上し、安全が確保された。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
------	-----------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本	生活環境林整備事業
事業費		999,000 円(うち交付金 999,000 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 委託契約</p> <p>【実施方法の選定理由】 森林所有者による整備が困難な箇所において、町が実施することにより、通学路や生活道路及び公共施設等、特に緊急性の高い箇所において、整備を進めた。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 見積りによる随意契約。落札率94.8%</p> <p>【契約相手方の選定理由】 現地及び当該事業に精通している大紀森林組合を選定。</p> <p>【事業費の積算根拠】 森林組合による各箇所の見積りを参考とし、積算し事業費を決定した。</p>
--------	--

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 整備地区の住民基本台帳からの把握 75戸 400人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 森林所有者個人による伐採搬出が困難である為、町で実施した。残存する森林は、引き続き森林所有者により整備されるよう依頼している。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 森林所有者に対し、転用や目的外使用が出来ないことを説明している。</p>
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 住民や自治会長に、みえ森と緑の県民税を活用して実施することを説明した。</p> <p>【実施中の実績】 工事看板や幟旗により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用していることを周知した。</p> <p>【実施後の実績】 事務所に、事業実施状況がわかるポスターを掲示した。</p> <p>【今後の見込】 町イベント時等、多数の来場が見込める時に、写真等の展示を行い周知していく。</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7. 写真



写真1
錦地区人通学路危険木



写真2
錦地区人通学路危険木撤去後



写真3
錦小学校危険木



写真4
錦小学校危険木除去後



写真5
崎地内その1大紀中学校危険木



写真6
崎地内その1大紀中学校危険木除去後

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7. 写真



写真1

大内山地内公園内危険木(枯れ木)



写真2

大内山地内公園内危険木(枯れ木)除去後



写真3

事務所内事業実績掲示

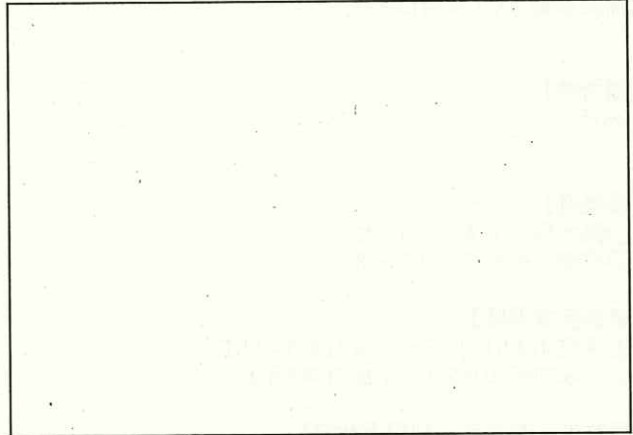


写真4

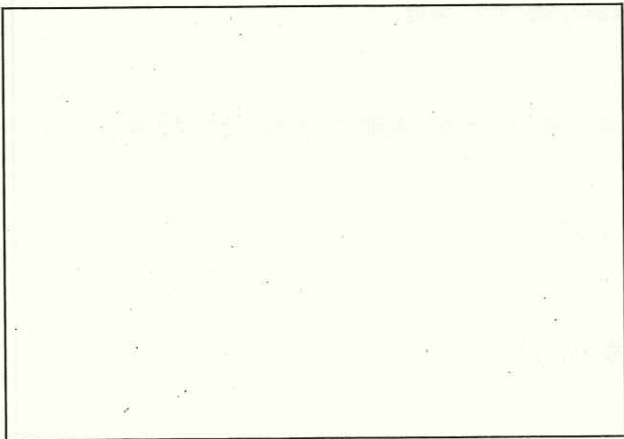


写真5

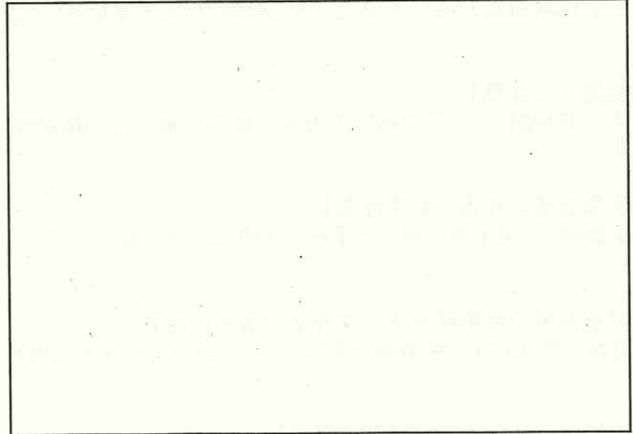


写真6

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	大紀町
番号	区分	事業名	
2	基本	溪流倒木等処理事業	
事業費	6,000,480 円(うち交付金	6,000,480 円 うち基金活用	0 円)

1. 事業の目的	過去の台風や豪雨により発生した山間部溪流沿いの倒木や流木は、今後豪雨が発生した際には下流域へ流出する可能性があり、自然災害が増幅することも予想される。そのため、昨年から継続して倒木、流木等の伐採・撤去等を行なうことにより、自然災害の拡大化を抑制する。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 山間部溪流沿いの危険倒木・流木等を伐採・除去等する。(県事業以外の小規模箇所対象)</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 大紀町</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 2ヵ所</p> <p>【事業量】 ①倒木等除去本数 200本 ②堆積土砂撤去 850m³</p> <p>【事業実施期間】 ①平成30年9月27日～平成31年3月25日 ②平成30年10月5日～平成31年2月28日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 人数 80戸 250人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 山間部溪流沿い及び人家近くの危険倒木・流木等が特に流出の危険がある箇所から実施。</p> <p>【実施した効果】 流木等が減少し、下流域での流木の衝突や橋梁への堆積等による危険が減少し、流域広範囲にわたる住民の安全性が向上した。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 危険倒木・流木等の発生による緊急的に必要な場合、町にて対応していく。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 看板の設置による税事業を周知。また庁舎内に写真等を掲示し税事業をPRする。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 聴き取りによると、生活環境が向上し、安全が確保された。</p>

対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	大紀町
番号	区分	事業名	
2	基本	渓流倒木等処理事業	
事業費	6,000,480 円(うち交付金	6,000,480 円	うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>①委託契約 ②請負契約</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>森林所有者による整備が困難な箇所において、町が実施することにより、特に緊急性の高い箇所において、整備が進んだ。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>①見積りによる随意契約。落札率95.6% ②指名競争入札落札率95.6%</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>①現地及び当該事業に精通している森林組合を選定。 ②指名競争競争入札落札者と契約</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>①森林組合による各箇所の見積りを参考とし、積算し事業費を決定した。 ②積算基準により積算。</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>整備箇所下流地区の住民基本台帳からの把握。 80戸 250人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>森林所有者個人による伐採搬出が困難である為、町で実施した。残存する森林は、引き続き森林所有者により整備されるよう依頼している。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>森林所有者に対し、転用や目的外使用が出来ないことを説明している。</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】</p> <p>住民や自治会長に、みえ森と緑の県民税を活用して実施することを説明した。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>工事看板や幟旗により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業をを活用していることを周知した。</p> <p>【実施後の実績】</p> <p>事務所に、事業実施状況がわかるポスターを掲示した。</p> <p>【今後の見込】</p> <p>町イベント時等、多数の来場が見込める時に、写真等の展示を行い周知していく。</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分 1. 土砂や流木を出さない森林づくり

市町名 大紀町

事業名 溪流倒木等処理事業

7. 写真



写真1

打見地内倒木



写真2

打見地内倒木処理後



写真3

打見地内倒木処理後



写真4

打見地内倒木処理後



写真5

事務所内事業実績掲示

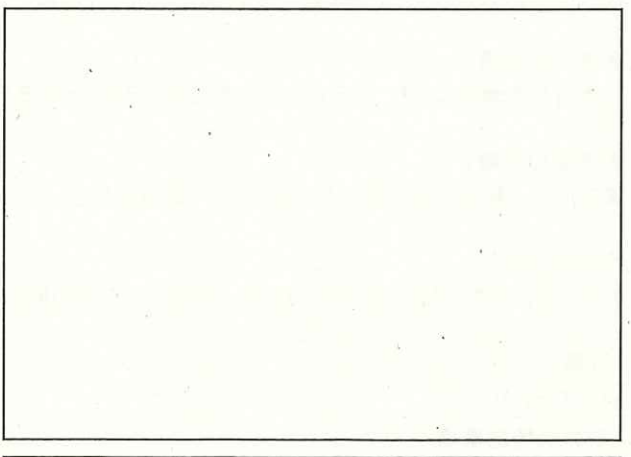


写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大紀町
番号	区分	事業名		
3	基本	木材利用推進・普及補助金		
事業費	50,000 円(うち交付金	50,000 円	うち基金活用	0 円)

1. 事業の目的	イベントを通じて、木に触れながら森林の必要性を感じてもらおう。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 木に触れることを目的とした木工教室を実施。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 大紀町</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 町のイベント時(大紀町ふれあいまつり)に開催。</p> <p>【事業量】 木工教室 1回</p> <p>【事業実施期間】 平成30年10月14日開催</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 参加者人数 25人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 次世代の子供達が多く集まる町イベント時に開催。</p> <p>【実施した効果】 木に触れたり、木材を組み立てたりする事が少ない現代に於いて、木に触れる貴重な機会であり、口頭での聞き取りの結果としては、木と触れ合えることがすくないので良い経験になったと子供の親からも聞いている。また、子供達からも木の薫りがいい匂いとの評価も頂いている。県民税パンフレットを配布することにより税事業のPRした。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 施設整備等になく該当しない。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 同上。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 子供のみならず、親子で参加頂いており、木に触れる良い機会と評価を頂いている。また、パンフレット配布及び説明にて、県民税のPRが出来ていると思われる。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大紀町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本	木材利用推進・普及補助金
事業費	50,000 円(うち交付金	50,000 円 うち基金活用 0 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 森林組合に材料費等の補助。</p> <p>【実施方法の選定理由】 多数の来場者が集まる町イベント時に開催。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】 該当なし</p> <p>【契約相手方の選定理由】 該当なし</p> <p>【事業費の積算根拠】 森林組合による見積りを参考とし、積算し事業費を決定した。</p>
--------	--

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】 イベント参加者人数 25人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】 個人が所有する森林等の整備ではなく該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】 行事等開催のため、転用等が想定されず該当しない。</p>
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】 幟で、木工教室の開催を周知した。</p> <p>【実施中の実績】 パンフレットの説明及び配布で、税を活用していることを周知した。</p> <p>【実施後の実績】 町庁舎でみえ森と緑の県民税市町交付金事業の成果と森林の大切さ等を伝えるパネル展を実施した。</p> <p>【今後の見込】 —</p>
---------------	---

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分

3. 森を育む人づくり

市町名

大紀町

事業名

木材利用推進・普及補助金

7. 写真



写真1

木工教室開催状況



写真2

木工教室開催状況



写真3

木工教室開催状況



写真4

事務所内事業実績掲示

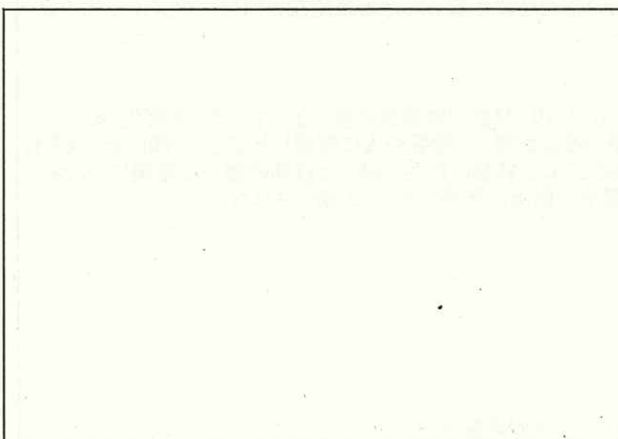


写真5

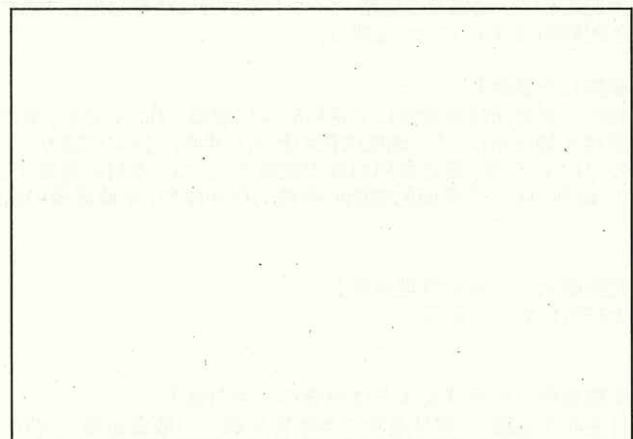


写真6

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	大紀町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本・特別	野原集会所新築工事
事業費	73,321,200 円(うち交付金	34,738,752 円 うち基金活用 15,607,323 円)

1. 事業の目的	野原地区は、自主防災組織の確立、地域イベントの開催など、地域活動が活発に行われているモデル的な地域であり、活動拠点となる集会所は、老朽化が進んでおり、防災の観点からも、早急な整備が求められている。緑豊かなこの地域の自然環境に配慮し、公共建築物等木材利用方針に基づいて、木造・木質化する集会所整備により、森林整備の重要性への意識向上を図り、また、地域で実施しているイベントで県民税事業を広くPRする。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 床面積298.12m²に対し県産材を55.78m³使用した木造・木質化した集会所を新築する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 大紀町</p> <p>【補助率等】 補助事業でなく該当しない。</p> <p>【箇所数】 大紀町野原地区 1箇所</p> <p>【事業量】 木造平屋建1棟 ・ 床面積:298.12m² ・ 県産材使用量:55.78m²</p> <p>【事業実施期間】 平成30年12月3日～平成31年3月29日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 年間利用者約2,000人</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 大紀町内で、地域での活動・イベント等が特に活発な地区であるため、多くの利用者に木質化した当該施設を利用してもらい、木の良さを実感しってもらうことが出来る。</p> <p>【実施した効果】 現在の集会所は鉄骨造にて昭和52年に建築されているが、老朽化が進んでおり、早急な整備が必要となっている。木質化された野原地区集会所は、広く地域住民の利用に供されるものであり、木と触れ合う機会が増え、環境や人に配慮した安らぎと潤いを与えるものである。今後、集会所利用者の意識向上により木材の需要が拡大されることは、林業の再生を通じた森林の適正な整備につながり、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、地域経済の活性化と雇用の創出に発展することが期待される。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 大紀町において管理。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 自主防災組織、農林産物の鳥獣害対策への取組組織、朝市・地域イベント等の活動拠点</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 税事業での取り組みであることを、設計段階から打合せ時に行っており、また、木造や県産材の利用について説明しており、木の薫りにつつまれた集会所を地区住民は、大変よろこんでいる。また、木造建築物からの木の温かみを感じるとの声を頂いている。</p>

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	大紀町
------	--------------	-----	-----

番号	区分	事業名
4	基本・特別	野原集会所新築工事
事業費	73,321,200 円(うち交付金	34,738,752 円 うち基金活用 15,607,323 円)

4. 効率性	
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】	
①野原集会所設計業務委託 落札率94.0% ③野原集会所新築工事 落札率97.9%	
②野原集会場新築基礎工事 落札率97.8%	
【実施方法の選定理由】	
①②③指名競争入札による選定	
【契約方法と落札率または補助率等】	
①指名競争入札落札者と契約 落札率94.0% ②指名競争入札落札者と契約 落札率97.9%	
③指名競争入札落札者と契約 落札率97.8%	
【契約相手方の選定理由】	
①②③町指名審査会による選定	
【事業費の積算根拠】	
①積算基準等により積算 ②設計業務委託により事業費の積算	
③設計業務委託により事業費の積算	
5. 公益性（波及度）	
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】	
イベント等参加人数 2000人/年	
【管理責任者（森林所有者）への対応】	
個人が所有する森林等の整備ではなく該当しない。	
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】	
公共施設整備であるため、転用等が想定されず該当しない。	
6. 周知実績と今後の周知	
【実施前の実績】	
区長等に、打合せ時に税事業での実施について説明をした。	
【実施中の実績】	
工事看板に税事業による実施の周知看板と幟の設置。	
【実施後の実績】	
事業看板を建物内に設置した。	
町広報誌に税事業での実施を周知した。	
【今後の見込】	
町イベント時等、多数の来場が見込める時に、写真等の展示を行い周知していく。	
7. 写真	
別紙のとおり	
8. その他特記事項	

対策区分	4. 木の薫る空間づくり
------	--------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	野原集会所新築工事
-----	-----------

7. 写真



写真1
旧野原集会所



写真2
建築状況



写真3
完成(外部)



写真4
完成(外部)



写真5
完成(内部)大会議室

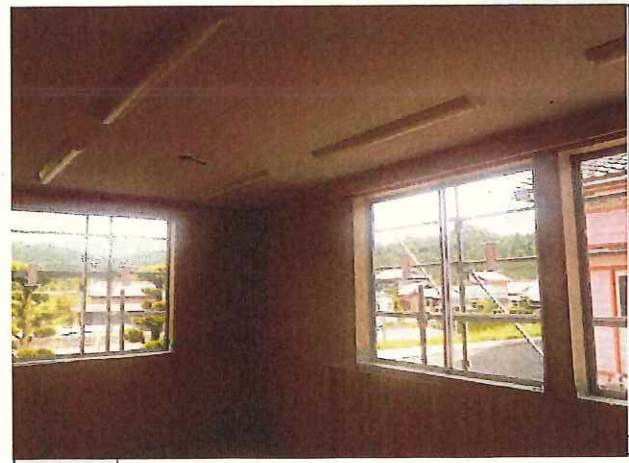


写真6
完成(内部)小会議室

対策区分	4. 木の薫る空間づくり
------	--------------

市町名	大紀町
-----	-----

事業名	野原集会所新築工事
-----	-----------

7. 写真



写真1

周知状況(工事看板及び幟)



写真2

周知状況(工事看板)



写真3

事務所内事業実績掲示

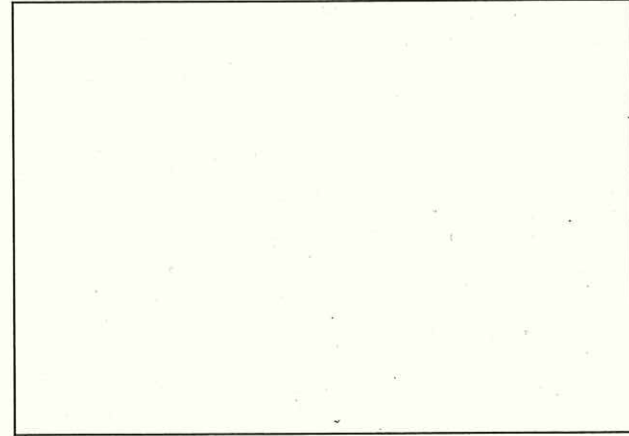


写真4

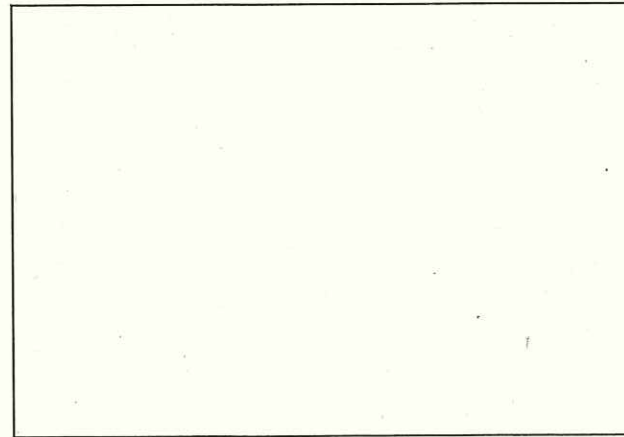


写真5

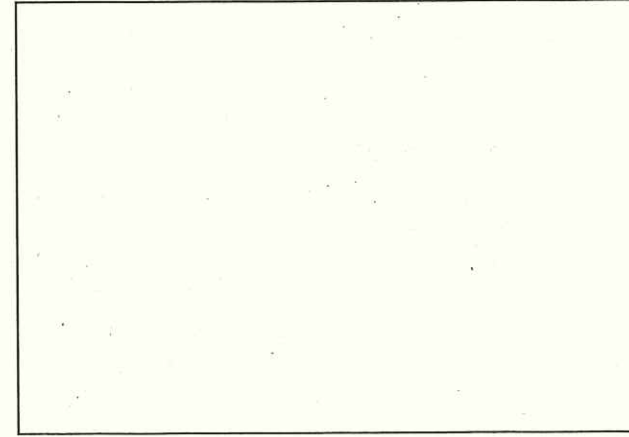


写真6

Handwritten notes in the top left corner, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten notes in the top right corner, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten notes in the bottom right corner, consisting of several lines of cursive script.

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町
------	----------------	-----	------

番号	区分	事業名
1	基本	危険木除去事業
事業費	5,463,720 円(うち交付金	5,454,000 円 うち基金活用 円)

1. 事業の目的	公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木を除去し、安心安全な街づくりを目指し生活環境の向上を図る。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木の除去を行う。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 南伊勢町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】 4箇所(阿曾浦1箇所、神津佐1箇所、下津浦1箇所、田曾浦1箇所)</p> <p>【事業量】 危険木除去 4箇所</p> <p>【事業実施期間】 平成30年11月22日～平成31年3月11日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 阿曾浦地区 393名 神津佐地区 89名 下津浦 58名 田曾浦 448名</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 区への要望を行い、実施箇所については、その中から職員が確認し優先順位をつける。</p> <p>【実施した効果】 学校や保育園、公民館、町施設や通学路、避難道などの町民が多く利用する施設周辺の危険な状態の木が整備される。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 普段の管理は、区・施設管理者が行う。規模の大きなものに関しては町で実施する。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 区の掲示板で周知。実施箇所に関して、町広報誌に掲載し周知する。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 区長や施設管理者への聞き取りにより、事前に危険や災害を防ぐことができたこと感謝の声が上がってきている。</p>

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名		
1	基本	危険木除去事業		
事業費	5,463,720 円(うち交付金	5,454,000 円	うち基金活用	円)

4. 効率性
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】
委託
【実施方法の選定理由】
町からの委託により実施。高齢化が進んでおり、住民活動での実施は難しい。
【契約方法と落札率または補助率等】
3者から見積りを徴収し、それを基に積算した。落札率97.7%
【契約相手方の選定理由】
町の規定に基づき、競争入札で選定した。
【事業費の積算根拠】
見積りを基に積算し、箇所をとりまとめたうえで発注した。

5. 公益性（波及度）
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】
阿曾浦地区 393名 神津佐地区 89名 下津浦 58名 田曾浦 448名
【管理責任者（森林所有者）への対応】
公共施設などの敷地に入り込んでいる部分のみの伐採なので、管理責任者の責任で実施するものと判断している。実施する際は、所有者から同意書を得ている。
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】
皆伐を考えていないので、転用制限等を考えていない。

6. 周知実績と今後の周知
【実施前の実績】
区長や施設管理者に事業内容などを理解してもらい、周辺の住民や所有者に周知してもらいPRした。
【実施中の実績】
工事看板に「税」の名前を入れてPRした。また、工事中に「税」の幟旗を掲げPRした。
【実施後の実績】
区の掲示板に「税」のチラシを貼ってPRした。ホームページにより県民税を活用して実施した事業として紹介した。
【今後の見込】
町内、町外の方に広く県民税事業を知っていただくため、今後も町HPを活用してPRを継続していく。

7. 写真
別紙のとおり
8. その他特記事項
平成28年度からの継続事業 ほとんどが雑木であり高齢化も進んでいる為、所有者による整備は困難であると考えられる。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	南伊勢町
-----	------

事業名	危険木除去事業
-----	---------

7. 写真



写真1
危険木除去(阿曾浦)避難道 実施前
避難道に巨木が覆い被さり倒木の可能性がある。

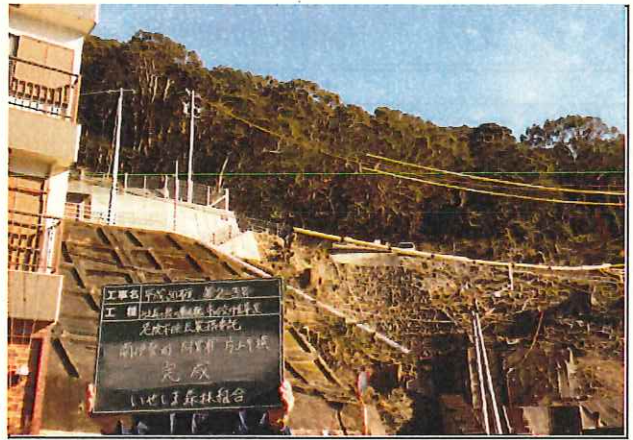


写真2
危険木除去(阿曾浦)避難道 実施後
避難道の巨木を伐採したことにより倒木の危険木がなくなった。



写真3
危険木除去(神津佐) 実施前
区の行事を行うことが多い場所でも木が覆い被さってきて危険である。



写真4
危険木除去(神津佐) 実施後
倒木の危険がなくなり、安全に行事が行えるようになった。



写真5
危険木除去(下津浦)実施前
公共施設でもあり危険場所でもあるところで木が覆い被さり危険である。

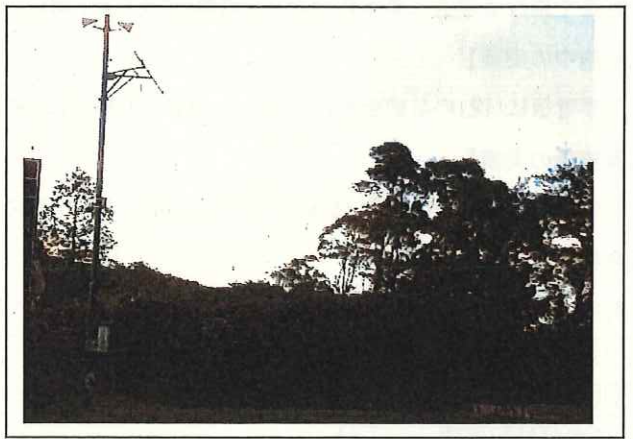


写真6
危険木除去(下津浦) 実施後
を伐採したことにより、倒木の危険がなくなった。 木

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名	
2	基本	遊歩道整備事業	
事業費	4,444,200 円(うち交付金	4,444,000 円	うち基金活用 円)

1. 事業の目的

町の宿泊施設の遊歩道を県産材を活用して新たに整備し、県産材の利用促進を図るとともに、利用者及び住民が自然に親しみ、森林とふれあう環境を身近にし、誰もが安心・安全に気軽に利用できることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】
 宿泊施設の遊歩道を県産材を活用して新たに整備することで、県産材の利用促進を図るとともに、利用者及び住民が安心・安全に気軽に利用でき、自然に親しみ森林とふれあう機会を増やす。

【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】
 南伊勢町

【補助率等】
 補助事業ではなく、該当しない。

【箇所数】
 1箇所(道方地区)

【事業量】
 町内宿泊施設1箇所(浮島パークなんとう 遊歩道)

【事業実施期間】
 平成31年1月25日～平成31年3月25日

【受益者、参加者、利用者数等】
 年間利用者 約3,100人

3. 有効性

【実施箇所の選定理由】
 浮島パークなんとうの遊歩道を整備することで、森林浴や登山など自然に親しみ森林とふれあう機会が増えるため。

【実施した効果】
 施設利用者に木の階段を使う機会を提供することができたとともに、森の中を歩く遊歩道を整備して利用者が増えることで森林の良さを感じてもらえることができた。

【実施箇所の今後の管理体制】
 町において、維持管理を行っていく。

【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】
 遊歩道を活用し、自然観察会や森林ウォーキング、災害時の津波からの避難など再整備することでさらに森林を総合的に利用し森林を身近にしていく。

【実施内容に対する住民等の反応】
 区長や施設管理者より、観光客が遊歩道の利をされやすくなって良かったと感謝の声が上がってきている。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------------	-----	------

番号	区分	事業名
2	基本	遊歩道整備事業
事業費	4,444,200 円(うち交付金	4,444,000 円 うち基金活用 円)

4. 効率性	
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】	
工事請負	
【実施方法の選定理由】	
町が管理する施設のため。	
【契約方法と落札率または補助率等】	
一般競争入札。落札率97.7%	
【契約相手方の選定理由】	
町の規定に基づき、競争入札で選定した。	
【事業費の積算根拠】	
三重県林道工事および森林整備の歩掛を用いて積算。	

5. 公益性（波及度）	
【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】	
宿泊施設（浮島パークなんとう）の利用者、約3,100人	
【管理責任者（森林所有者）への対応】	
個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。	
【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】	
公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。	

6. 周知実績と今後の周知	
【実施前の実績】	
区長や施設管理者に事業内容などを理解してもらい、周辺の住民や所有者に周知してもらいPRした。	
【実施中の実績】	
工事看板に「税」の名前を入れてPRした。	
【実施後の実績】	
区の掲示板に「税」のチラシを貼ってPRした。また、施設管理者から利用者にも周知を行ってもらった。ホームページにより県民税を活用して実施した事業として紹介した。	
【今後の見込】	
町内、町外の方に広く県民税事業を知っていただくため、今後も町HPを活用してPRを継続していく。	

7. 写真	
別紙のとおり	

8. その他特記事項	
-------------------	--

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 南伊勢町

事業名 遊歩道整備事業

7. 写真



写真1
実施前



写真2
実施前



写真3
実施後



写真4
実施後

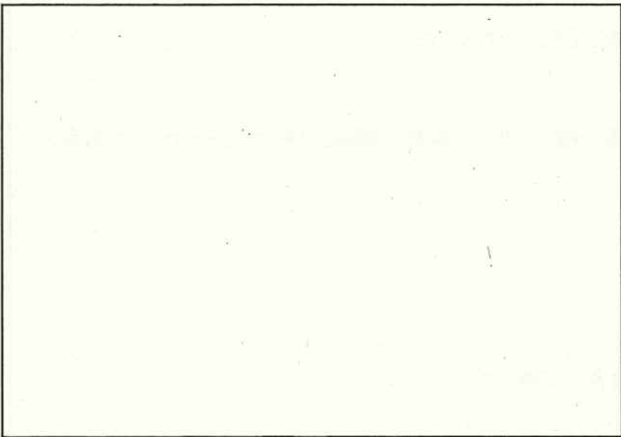


写真5

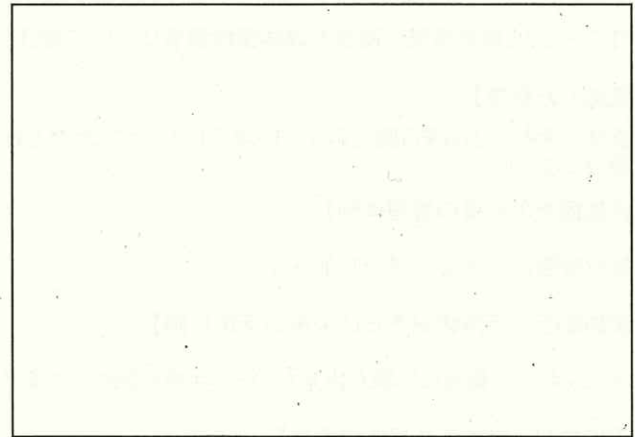


写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名		
3	基本	森林環境教育事業		
事業費	125,010 円(うち交付金)	125,000 円	うち基金活用	円)

1. 事業の目的	<p>森林や緑を大切に思い育む人づくりのため、小学生を対象に森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や緑の大切さなどの理解を深めていくために木育を推進していく。</p>
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】 町内の小学生を対象に森や緑について学び、南伊勢町の森林や木材についてふれあうことを目的とした木育教室を実施する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】 南伊勢町</p> <p>【補助率等】 補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】 2箇所(南島西・東小学校(合同)、南勢小学校)</p> <p>【事業量】 小学校 2箇所</p> <p>【事業実施期間】 平成30年11月13日、平成31年2月7日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】 南島西・東小学校(1年生 17名 2年生 12名) 南勢小学校(2年生 30名)及び学校関係者</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】 町のふるさと教育事業の関連で森林環境教育について説明し積極的な学校から行なった。</p> <p>【実施した効果】 森林や木材にふれあう機会が少ない現代において、木のふれあう貴重な機会であり、森林に興味を持ってもらえた、とても良い機会になった。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】 施設等整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】 木にふれあい貴重な体験が出来たので、今後も継続的に森林環境教育を実施していく。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】 対象児童から森林への興味や理解が深まったと手紙がきている。今後も継続して実施していく。</p>

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町
------	-------------	-----	------

番号	区分	事業名
3	基本	森林環境教育事業
事業費	125,010 円(うち交付金	125,000 円 うち基金活用 円)

4. 効率性
<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>委託</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>委託することで、専門的な立場から森林環境教育の重要性を認識した上で、適切な教育を実施することができるため。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>随意契約</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>町の規定に基づき、随意契約を行なった。県民税を活用して設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録があった。</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>参考見積り</p>

5. 公益性（波及度）
<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>南島西・東小学校(1年生 17名 2年生 12名) 南勢小学校(2年生 30名)と学校関係者</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>森林環境教育事業であるため、転用等が想定されず、該当しない。</p>

6. 周知実績と今後の周知
<p>【実施前の実績】</p> <p>森林環境教育事業について、「税」で行なうことを説明し、各小学校に参加を呼びかけた。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>「税」の幟旗を設置しPRした。</p> <p>【実施後の実績】</p> <p>学校に「税」のチラシを貼ってPRした。また、小学校の保護者向けの便りに掲載し、ホームページにも掲載した。</p> <p>【今後の見込】</p> <p>今後も継続的に森林環境教育を実施することで、児童や保護者、学校の先生への定着を図りたい。</p>

7. 写真
別紙のとおり

8. その他特記事項

対策区分 3. 森を育む人づくり

市町名 南伊勢町

事業名 森林環境教育事業

7. 写真



写真1 森のせんせいのお話



写真2 木の観察



写真3



写真4 木のコースター作り

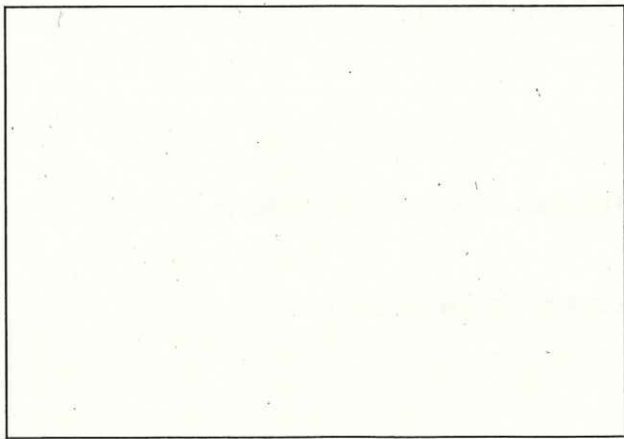


写真5

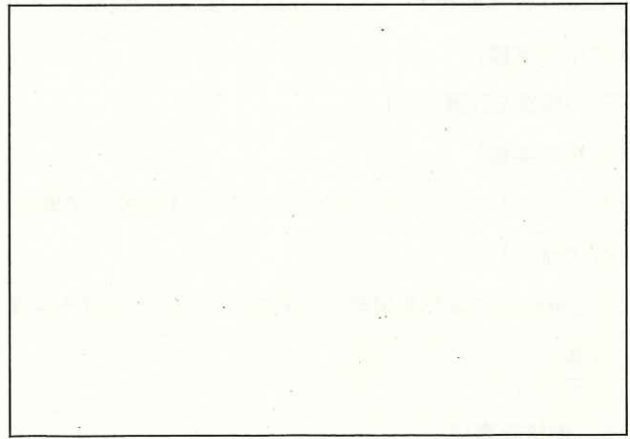


写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名	
4	基本	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	
事業費	7,359,120 円(うち交付金	7,359,000 円	うち基金活用 円)

1. 事業の目的
町民が利用する公園をウッドチップで木質化することにより、森林や木材、緑に対する理解や関心を深めるとともに、木にふれあう機会を増やし、誰もが身近に感じ、利用できるように整備する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>町民が利用する公園をウッドチップで木質化することで、森林や木材、緑に対する理解や関心を深めるとともに、誰もが身近に木にふれあう機会を増やす。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】</p> <p>南伊勢町</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではなく、該当しない</p> <p>【箇所数】</p> <p>1箇所(阿曾浦地区)</p> <p>【事業量】</p> <p>1箇所(阿曾浦公園)</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>平成30年10月2日～平成30年12月5日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>1地区 770人</p>
3. 有効性
<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>公園を整備することで、子供から大人、老人までが身近に森林や木材にふれあう機会が増えるため。また、園児や小学生に関しては裸足で遊べるような場としさらに木にふれあう機会を増やすため。</p> <p>【実施した効果】</p> <p>公園の整備が一部未完成の部分があるため、森林とふれあう機会はまだまだ少ないが、完成すればさらに理解が深まることが期待される。また、ウッドチップ舗装は滑りにくい上にクッション性も高く、また水はけが良いのでコケも生えにくいことから、子どものケガの防止や高齢者の膝への負担が少なく景観も損なわないことより心身の健康面での効果が期待される。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】</p> <p>町において、維持管理を行っていく。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】</p> <p>ウッドチップ舗装を活用し、子供から大人、老人までが木にふれあう機会を身近にし森林環境教育なども行っていく。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】</p> <p>区長や区民より、砂の飛散が少なくなったことや、クッション性があるため利用しやすいと感謝の声が上がってきている。</p>

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------------	-----	------

番号	区分	事業名
4	基本	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業
事業費	7,359,120 円(うち交付金	7,359,000 円 うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>工事請負</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>町が管理する施設のため。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>一般競争入札。落札率97.9%</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>町の規定に基づき、競争入札で選定した。</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>治山林道必携、見積もりによる</p>
--------	--

5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>阿曾浦区住民 約390人</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。</p>
-------------	---

6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】</p> <p>区長や施設管理者に事業内容などを理解してもらい、周辺の住民や所有者に周知してもらいPRした。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>工事看板に「税」の名前を入れてPRした。</p> <p>【実施後の実績】</p> <p>区の掲示板に「税」のチラシを貼ってPRした。また、施設管理者から利用者にも周知を行ってもらった。ホームページにより県民税を活用して実施した事業として紹介した。</p> <p>【今後の見込】</p> <p>町内、町外の方に広く県民税事業を知っていただくため、今後も町HPを活用してPRを継続していく。</p>
---------------	--

7. 写真	別紙のとおり
-------	--------

8. その他特記事項	
------------	--

対策区分 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名 南伊勢町

事業名 阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備

7. 写真



写真1
実施前



写真2
実施後



写真3
実施後



写真4
実施後



写真5
実施後

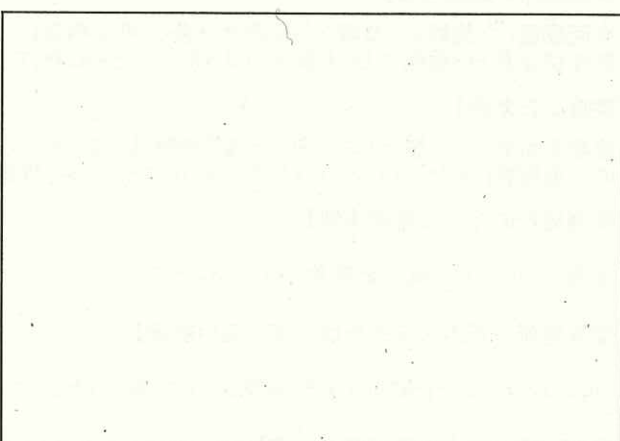


写真6

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名	
5	特別	町施設備品購入	
事業費	9,269,640 円(うち交付金	9,267,000 円	うち基金活用 円)

1. 事業の目的	南伊勢町の庁舎や保育園、病院、福祉施設等の備品を木製品とすることで、木材利用を推進するとともに、木造製品の良さをPRする。
2. 事業実績概要	<p>【事業内容】</p> <p>南伊勢町の庁舎や保育園、病院、福祉施設等の備品に木製品を設置する。</p> <p>【実施主体（補助事業は補助事業実施主体）】</p> <p>南伊勢町</p> <p>【補助率等】</p> <p>補助事業ではなく、該当しない。</p> <p>【箇所数】</p> <p>4箇所【新町立病院、南島西・東小学校、ふれあいセンターなんとう、阿曾浦公園】</p> <p>【事業量】</p> <p>別紙参照</p> <p>【事業実施期間】</p> <p>平成30年9月25日～平成31年3月6日</p> <p>【受益者、参加者、利用者数等】</p> <p>南島西・東小学校 約130名 ふれあいセンターなんとう 約4,600名 阿曾浦公園 約390名 町立病院 約45,200名</p>
3. 有効性	<p>【実施箇所の選定理由】</p> <p>今回設置した施設は、日頃から利用者が多く、町立病院については令和元年度新設予定で、床や壁に木材を使用しているため、県産材家具との調和により木製品の良さをふんだんにPRできるため。</p> <p>【実施した効果】</p> <p>施設利用者に、木製品とふれあえる機会を提供することができ、PRすることができた。また、ふれあいセンターなんとうは子ども達の学童施設にもなっているので木育も進めることができ、保護者にもPRすることができた。</p> <p>【実施箇所の今後の管理体制】</p> <p>管理については、施設管理者に行ってもらう。</p> <p>【実施箇所の活用状況または今後の活用計画】</p> <p>「税」のステッカーを貼りPRする。施設入口に「税」のチラシなどを貼ることにより周知と木の良さをPRしていく。</p> <p>【実施内容に対する住民等の反応】</p> <p>施設の関係者や利用者から、木の持つ雰囲気が良いなどの声が上がってきている。</p>

対策区分	4. 木の薫る空間づくり	市町名	南伊勢町
番号	区分	事業名	
5	特別	町施設備品購入	
事業費	9,269,640 円(うち交付金	9,267,000 円	うち基金活用 円)

4. 効率性	<p>【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】</p> <p>町による物品購入(業務委託)</p> <p>【実施方法の選定理由】</p> <p>町施設の備品購入であるため。</p> <p>【契約方法と落札率または補助率等】</p> <p>3者から見積りを徴収し、それを基に積算した。落札率97.9%</p> <p>【契約相手方の選定理由】</p> <p>町の規定に基づき、競争入札で選定した。</p> <p>【事業費の積算根拠】</p> <p>見積りを基に積算した。</p>
5. 公益性（波及度）	<p>【受益者、参加者、利用者の数と把握方法】</p> <p>南島西・東小学校 約130名 ふれあいセンターなんとう 約4,600名 阿曾浦公園 約390名 町立病院 約45,200名</p> <p>【管理責任者（森林所有者）への対応】</p> <p>個人が所有する森林等の整備ではなく、該当しない。</p> <p>【実施箇所の転用、目的外使用の規制等】</p> <p>各施設での備品購入のため、転用が想定されず、該当しない。</p>
6. 周知実績と今後の周知	<p>【実施前の実績】</p> <p>施設関係者に県民税を活用して実施することを周知し、事業の内容などを理解してもらいPRした。</p> <p>【実施中の実績】</p> <p>物品を購入する事業であり、「実施中」に該当する期間がないため、実施前後に周知した。</p> <p>【実施後の実績】</p> <p>「税」のステッカーを貼りPRした。ホームページにより県民税を活用して実施した事業として紹介した。</p> <p>【今後の見込】</p> <p>施設の掲示板などに県民税のチラシを掲載してPRする。町内、町外の方に広く県民税事業を知っていただくため、今後も町HPを活用してPRを継続していく。</p>
7. 写真	別紙のとおり
8. その他特記事項	

対策区分 4. 木の薫る空間づくり

市町名 南伊勢町

事業名 町施設備品購入

7. 写真



写真1 児童・生徒用 机・椅子



写真2 絵本棚



写真3 木製ベンチ



写真4 「税」ステッカー



写真5 新町立病院 ロッカー (5列3段)



写真6 新町立病院 椅子

	名称	規格	数量	
1	ロケット型テーブル	W1500*D700*H700	2	新町立病院
2	背もたれ椅子	W400*D510*H850 (sh430)	12	
4	棚2段ロータイプ	W650*D400*H900	1	
5	棚2段ワイドタイプ	W1500*D800*H900	1	
6	椅子	W460*D490*H750 (sh430)	16	
7	ローテーブル	W1200*D800*H350	1	
8	ロッカー5列3段	W2135*D470*H1070	1	
9	ロッカー4列3段	W1715*D470*H1070	2	
10	扉付ロッカー	W450*D430*H1800	2	
11	テーブル	W1500*D900*H700	3	
12	掲示用パーテーション	W900*D620*H1600	2	
13	片面書架（傾斜単式）2連4段	W1800*D345*H1430	4	
14	閲覧テーブル	W1800*D900*H700	1	
15	閲覧椅子	W460*D490*H750 (sh430)	6	
16	児童・生徒用 机・椅子	W650*D450*H520~700 W369*D400*H580~690 (sh300~410)	56	
17	木製ベンチ（背もたれ付）	W1600*D550*H820 (sh400)	12	阿曾浦公園
18	絵本棚	W900*D400*H900	2	ふれあいセンター なんとう

